

アムンディ・欧州ハイ・イールド債券ファンド

販売用資料
2013年11月

ユーロコース

ブラジルリアルコース

資源国通貨コース

豪ドルコース

トルコリラコース

円コース

追加型投信／海外／債券



お申込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

投資信託説明書（交付目論見書）のご請求、お申込みは



商号等：東海東京証券株式会社

金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第140号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、

一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用は

Amundi

ASSET MANAGEMENT
アムンディ アセットマネジメント

商号等：アムンディ・ジャパン株式会社（金融商品取引業者）

登録番号 関東財務局長（金商）第350号

加入協会：一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

●当資料は、販売用資料としてアムンディ・ジャパン株式会社が作成したものです。法令等に基づく開示書類ではありません。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性あるいは完全性について保証するものではありません。また、当資料中のいかなる内容も、将来の投資収益等を示唆または保証するものではありません。当資料中には、特定の資産、市場等に関する予測および将来見通しが含まれていることがありますが、実際に生じる事象はかなり相違することがあります。当資料に記載されている内容は、全て当資料作成日以前のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。●ファンドは、投資対象ファンドへの投資を通じて主に債券など値動きのある有価証券（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）に実質的に投資しますので、組み入れた債券の値動き、為替相場等の影響によって基準価額は変動します。したがって金融機関の預貯金等と異なり、購入金額を下回り、損失が生じる場合があり、元金および分配金が保証されているものではありません。●ファンドは、実質的に外国債券等を主に組み入れますので、為替レートの変動により当該外国債券等の円換算価格が変動する「為替変動リスク」があります。●投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うことになります。●投資信託は預金ではなく、預金保険の対象とはなりません。●投資信託は保険契約ではなく、保険契約者保護機構の保護の対象とはなりません。●購入のお申込みを行う場合には、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）を必ずお受け取りいただき、ファンドの内容、リスク、手数料・費用等の詳細をご確認の上、ご自身の判断でお申込ください。

ファンドの特色

「ユーロコース」、「ブラジルリアルコース」、「資源国通貨コース」、「豪ドルコース」、「トルコリラコース」、「円コース」の6つのコースを総称して「各ファンド」といいます。

1 各ファンドは、欧州のハイイールド債（高利回り債／投機的格付債）を実質的な主要投資対象とします。

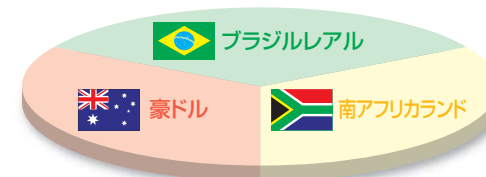
- 各ファンドは、欧州のハイイールド債を主要投資対象とする円建の外国籍投資信託「ストラクチャ-欧州ハイ・イールド・ボンド」と、円建の国内籍投資信託「CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）」を投資対象とするファンド・オブ・ファンズ方式※で運用します。

※ファンド・オブ・ファンズとは複数の投資信託証券に投資する投資信託のことをいいます。投資信託証券を以下、「投資信託」と記載します。

2 「アムンディ・欧州ハイ・イールド債券ファンド」は投資する外国籍投資信託における為替取引が異なる6つのコースから構成されています。

- ブラジルリアルコース、資源国通貨コース、豪ドルコース、トルコリラコースでは金利差から生じる為替取引によるプレミアムの獲得を目的として為替取引を行います。
- 円コースでは為替変動リスクの低減を目的として、ユーロ売り/円買いの為替取引（対円での「為替ヘッジ」といいます）を行います。
- ユーロコースでは対円での為替ヘッジを行いません。

＜ファンドの収益源/基準価額変動要因のイメージ＞		為替取引によるプレミアム/コスト		為替変動	
ユーロコース	欧州のハイイールド債	+		+	円/ユーロ
ブラジルリアルコース		+	ユーロ/ブラジルリアル	+	円/ブラジルリアル
資源国通貨コース		+	ユーロ/資源国通貨	+	円/資源国通貨
豪ドルコース		+	ユーロ/豪ドル	+	円/豪ドル
トルコリラコース		+	ユーロ/トルコリラ	+	円/トルコリラ
円コース		+	ユーロ/円	+	



資源国通貨とは…

原則として、代表的な資源国であるブラジル、オーストラリアおよび南アフリカの3カ国の通貨（ブラジルリアル、豪ドルおよび南アフリカランド）をいいます。また、原則として、これらの通貨を均等に配分したものを、以下「資源国通貨バスケット」といいます。

3 各ファンドは、毎決算時（原則として毎月8日。休業日の場合は翌営業日とします）に、原則として収益分配方針に基づき収益分配を行います。

- 分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益（評価益を含みます）等の全額とします。
- 分配金額は、委託会社が基準価額水準および市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。したがって、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
- 留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき元本部分と同一の運用を行います。

●当資料は、販売用資料としてアムンディ・ジャパン株式会社が作成したものです。法令等に基づく開示書類ではありません。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性あるいは完全性について保証するものではありません。また、当資料中のいかなる内容も、将来の投資収益等を示唆または保証するものではありません。当資料中には、特定の資産、市場等に関する予測および将来見通しが含まれていることがありますが、実際に生ずる事象はかならずしも相違することがあります。当資料に記載されている内容は、全て当資料作成日以前のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。●ファンドは、投資対象ファンドへの投資を通じて主に債券など値動きのある有価証券（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）に実質的に投資しますので、組み入れた債券の値動き、為替相場等の影響によって基準価額は変動します。したがって金融機関の預貯金等と異なり、購入金額を下回り、損失が生じる場合があります。元金および分配金が保証されているものではありません。●ファンドは、実質的に外国債券等を主に組み入れますので、為替レートの変動により当該外国債券等の円換算価格が変動する「為替変動リスク」があります。●投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うことになります。●投資信託は預金ではなく、預金保険の対象とはなりません。●投資信託は保険契約ではなく、保険契約者保護機構の保護の対象とはなりません。●購入のお申込みを行う場合には、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）を必ずお受け取りいただき、ファンドの内容、リスク、手数料・費用等の詳細をご確認の上、ご自身の判断でお申込ください。

ファンドの投資リスク

◎基準価額の変動要因（基準価額の変動要因(投資リスク)は下記に限定されるものではありません。）

各ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主として債券など値動きのある有価証券（外貨建資産には為替変動リスクがあります）に実質的に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、**投資元本が保証されているものではありません。**各ファンドの基準価額の下落により、損失を被り投資元本を割込むことがあります。各ファンドの運用による損益はすべて投資者に帰属します。なお、投資信託は預貯金とは異なります。

① 価格変動リスク

各ファンドが主要投資対象とする外国籍投資信託は、主に欧州のハイイールド債（高利回り債／投機的格付債）を投資対象としています。債券の価格はその発行体の経営状況および財務状況、一般的な経済状況や金利、証券の市場感応度の変化等により価格が下落するリスクがあります。一般的に金利が上昇した場合には債券価格は下落します。当該債券の価格が下落した場合には、各ファンドの基準価額も下落し、損失を被り投資元本を割込むことがあります。

② 為替変動リスク

■ブラジルリアルコース、資源国通貨コース、豪ドルコース、トルコリラコース

各ファンドの主要投資対象である外国籍投資信託は、実質的にユーロ建資産に投資し、原則としてユーロ売り、取引対象通貨買いの為替取引を行います。そのため、各ファンドは円に対する取引対象通貨の為替変動の影響を受け、取引対象通貨の為替相場が円高方向に進んだ場合には、各ファンドの基準価額は下落し、損失を被り投資元本を割込むことがあります。また、為替取引を行う際に実質的なユーロ建資産額と為替取引額を一致させることはできませんので、基準価額は主に円に対するユーロの為替変動の影響を受ける場合があります。なお、為替取引を行う際に取引対象通貨の金利がユーロ金利より低い場合、ユーロと取引対象通貨との金利差相当分の費用（為替取引によるコスト）がかかることにご留意ください。

一部の取引対象通貨については、外国籍投資信託においてNDF取引※（ノン・デリバラブル・フォワード、直物為替先渡取引）を用いて為替取引を行います。NDF取引による価格は需給や当該通貨に対する期待等により、金利差から想定される為替取引の価格と大きく乖離し、当該金利差から想定される期待収益性と運用成果が大きく異なる場合があります。

※NDF取引とは、現物通貨の取引規制が厳しい通貨や為替市場が未成熟な通貨の為替取引を行う場合に、あらかじめ約定したNDFレートと満期時の直物為替レートとの差から計算される差金のみをユーロまたはその他主要通貨で決済する相対取引です。

■ユーロコース

ファンドの主要投資対象である外国籍投資信託は、実質的にユーロ建資産に投資し、原則として対円での為替ヘッジを行いませんので、主に円に対するユーロの為替変動の影響を大きく受けます。円高になった場合、投資する外貨建資産の円貨建価値が下落し、ファンドの基準価額が下落する要因となり、損失を被り投資元本を割込むことがあります。

■円コース

ファンドの主要投資対象である外国籍投資信託は、実質的にユーロ建資産に投資し、原則として対円での為替ヘッジを行うことで為替変動リスクの低減を図ります。ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではなく、主に円に対するユーロの為替変動の影響を受ける可能性があります。なお、為替ヘッジを行う際に円金利がユーロ金利より低い場合、ユーロと円との金利差相当分の費用（為替ヘッジコスト）がかかることにご留意ください。

③ 流動性リスク

各ファンドに対して短期間で大量の換金の申込があった場合には、各ファンドの主要投資対象である外国籍投資信託において、組入有価証券の売却および為替取引の解消を行います。ハイイールド債および為替市場の特性から市場において十分な流動性が確保できない場合があり、その場合には市場実勢から想定される妥当性のある価格での組入有価証券の売却および為替取引の解消が出来ない場合、あるいは当該換金に十分対応する金額の組入有価証券の売却および為替取引の解消が出来ない場合があります。この場合、各ファンドの基準価額の下落要因となり、損失を被り投資元本を割込むことがあります。

④ 信用リスク

各ファンドが実質的に投資する債券の発行体や主要投資対象の外国籍投資信託が行う為替取引等の取引相手方等の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化を含む信用状況等の悪化という事態は信用リスクの上昇を招くことがあり、その場合には実質的に投資する債券の価格の下落および為替取引等に障害が生じ、不測のコスト上昇等を招くことがあります。この場合、各ファンドの基準価額の下落要因となり、損失を被り投資元本を割込むことがあります。

債券の発行体等および為替取引等の取引相手方が破産した場合は、投資資金の全部あるいは一部を回収できなくなることがあります。その結果、各ファンドの基準価額が下落し、損失を被り投資元本を割込むことがあります。

●当資料は、販売用資料としてアムンディ・ジャパン株式会社が作成したものです。法令等に基づく開示書類ではありません。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性あるいは完全性について保証するものではありません。また、当資料中のいかなる内容も、将来の投資収益等を示唆または保証するものではありません。当資料中には、特定の資産、市場等に関する予測および将来見通しが含まれていることがありますが、実際に生じる事象はかなり相違することがあります。当資料に記載されている内容は、全て当資料作成日以前のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。●ファンドは、投資対象ファンドへの投資を通じて主に債券など値動きのある有価証券（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）に実質的に投資しますので、組み入れた債券の値動き、為替相場等の影響によって基準価額は変動します。したがって金融機関の預貯金等と異なり、購入金額を下回り、損失が生じる場合があります。元金および分配金が保証されているものではありません。●ファンドは、実質的に外国債券等を主に組み入れますので、為替レートの変動により当該外国債券等の円換算価格が変動する「為替変動リスク」があります。●投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うことになります。●投資信託は預金ではなく、預金保険の対象とはなりません。●投資信託は保険契約ではなく、保険契約者保護機構の保護の対象とはなりません。●購入のお申込みを行う場合には、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）を必ずお受け取りいただき、ファンドの内容、リスク、手数料・費用等の詳細をご確認の上、ご自身の判断でお申込ください。

ファンドにおける収益の源泉



- 各ファンドは、通貨選択型の投資信託です。
- 通貨選択型の投資信託は、株式や債券などの投資対象資産への投資に加えて、為替取引の対象通貨を選択できるように設計された投資信託です。
- 以下の収益源に相応してリスクが内在していることに注意が必要です。

ポイント1 欧州のハイイールド債に投資

欧州のハイイールド債を実質的な主要投資対象とすることで、高水準のインカムゲインの確保と中長期的な投資信託財産の成長を目指します。

ポイント2 為替取引について

各コースにより、為替取引が異なります。ブラジルリアルコース、資源国通貨コース、豪ドルコースおよびトルコリラコースでは、ユーロ売り／取引対象通貨買いの為替取引を行います。円コースでは、対円での為替ヘッジによりユーロ建資産の為替変動リスクの低減を図ります。また、ユーロコースでは対円での為替ヘッジを行いません。ユーロより金利が高い通貨で為替取引を行う場合は、プレミアム（金利差相当分の収益）が期待できます。反対に、金利が低い通貨で為替取引を行う場合は、コスト（金利差相当分の費用）が生じます。

ポイント3 為替差益も期待

ユーロおよび取引対象通貨（円コースを除く）が対円で上昇（円安）した場合、為替差益を得ることができます。反対に、ユーロおよび取引対象通貨（円コースを除く）が対円で下落（円高）した場合、為替差損が発生します。

*当資料における「取引対象通貨」は、「ブラジルリアル」、「資源国通貨バスケット」、「豪ドル」、「トルコリラ」、「円」を指します。

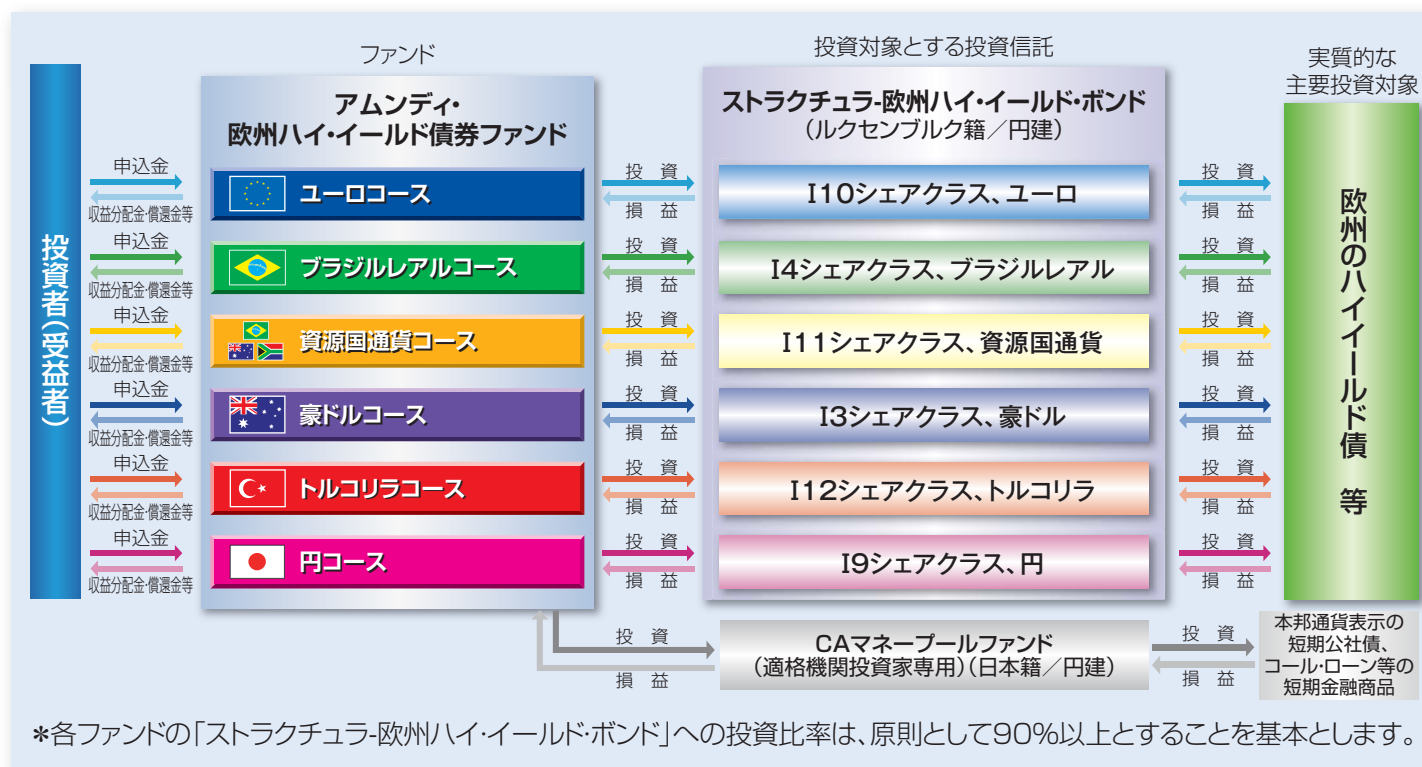
●当資料は、販売用資料としてアムンディ・ジャパン株式会社が作成したものです。法令等に基づく開示書類ではありません。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性あるいは完全性について保証するものではありません。また、当資料中のいかなる内容も、将来の投資収益等を示唆または保証するものではありません。当資料中には、特定の資産、市場等に関する予測および将来見通しが含まれていることがありますが、実際に生じ得る事象はかなりの相違することがあります。当資料に記載されている内容は、全て当資料作成日以前のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。●ファンドは、投資対象ファンドへの投資を通じて主に債券など値動きのある有価証券（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）に実質的に投資しますので、組み入れた債券の値動き、為替相場等の影響によって基準価額は変動します。したがって金融機関の預貯金等と異なり、購入金額を下回り、損失が生じる場合があり、元金および分配金が保証されているものではありません。●ファンドは、実質的に外国債券等を主に組み入れますので、為替レートの変動により当該外国債券等の円換算価格が変動する「為替変動リスク」があります。●投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うことになります。●投資信託は預金ではなく、預金保険の対象とはなりません。●投資信託は保険契約ではなく、保険契約者保護機構の保護の対象とはなりません。●購入のお申込みを行う場合には、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）を必ずお受け取りいただき、ファンドの内容、リスク、手数料・費用等の詳細をご確認の上、ご自身の判断でお申込ください。



■各ファンドは、欧州のハイイールド債を主要投資対象とする円建の外国籍投資信託「ストラクチャ-欧州ハイ・イールド・ボンド」と、円建の国内籍投資信託「CAマネープールファンド(適格機関投資家専用)」を投資対象とするファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。

ファンドの仕組み

イメージ図



◆ユーロコース、ブラジルリアルコース、資源国通貨コース、豪ドルコース、トルコリラコースおよび円コースの各ファンド間でのスイッチングが可能です。
(16ページをご参照ください)

●当資料は、販売用資料としてアムンディ・ジャパン株式会社が作成したものです。法令等に基づく開示書類ではありません。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性あるいは完全性について保証するものではありません。また、当資料中のいかなる内容も、将来の投資収益等を当該投資は保証するものではありません。当資料中には、特定の資産、市場等に関する予測および将来見通しが含まれていることがあります。当資料に記載されている内容は、全て当資料作成日以前のものであり、今後予告なくに変更されることがあります。●ファンドは、投資対象ファンドへの投資を通じて主に債券など流動性の高い有価証券(外貨建資産)は為替変動リスクも持っています。)に実質的に投資しますので、組み入れた債券の価値変動、為替相場等の影響によって基準価額は変動します。したがって金融機関の預貯金等と異なり、購入金額を下回り、損失が生じる場合があり、元金および分配金が保証されているものではありません。●ファンドは、実質的に外国債券等を主に組み入れますので、為替レートの変動により当該外国債券等の円換算価格が変動する「為替変動リスク」があります。●投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うこととなります。●投資信託は預金ではなく、保険金保の対象とはなりません。●投資信託は保険契約ではなく、保険契約者保護機構の保護の対象とはなりません。●購入のお申込みを行う場合には、販売会社から投資信託説明書(交付目論見書)を必ずお受け取りいただき、ファンドの内容、リスク、手数料・費用等の詳細をご確認の上、ご自身の判断でお申込ください。

ハイールド債について

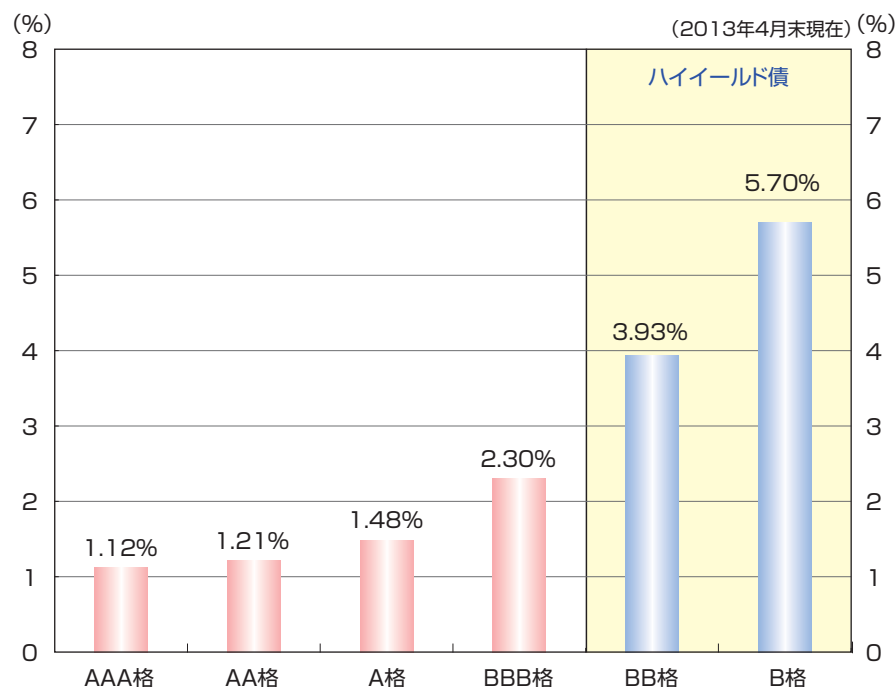


■ハイールド債とは、格付機関（スタンダード&プアーズ社、ムーディーズ社など）によってBB格以下の格付が付与されている債券をいいます。

■投資適格債と比較して信用リスク※が高い反面、利回りが高い特徴があります。

※発行体の財務内容の悪化等により、債券の元金や利金等の支払が滞ったり、支払われなくなるリスクをいいます。

欧州の社債 格付別利回り



出所:ブルームバーグのデータを基に、アムンディ・ジャパン株式会社が作成。
AAA格~BBB格:BofAML・EMUコーポレートインデックス、BB格~B格:BofAML・ユーロ・ハイールドインデックスを使用。

債券の格付と利回り・信用リスクの関係

(2013年4月末現在)

	スタンダード&プアーズ社		ムーディーズ社	
	格付	利回り	格付	利回り
投資適格債 (BBB格以上)	AAA	+	Aaa	1
	AA	-	Aa	2
	A	+	A	3
	BBB	-	Baa	1
ハイールド債 (高利回り債／ 投機的格付債) (BB格以下)	BBB	+	Baa	2
	BB	-	Ba	3
	B	+	B	1
	B	-	B	2
	B	+	B	3
	CCC	-	Caa	1
	CCC	+	Caa	2
	CCC	-	Caa	3
	CC		Ca	
	C		C	

各
ファン
ドの
主な
投資
対象

出所:スタンダード&プアーズ社、ムーディーズ社のホームページの情報を基に、アムンディ・ジャパン株式会社が作成。スタンダード&プアーズ社のD格は省略。

上記は過去のデータやイメージであり、将来を示唆あるいは保証するものではありません。また、各ファンドの運用実績ではありません。各ファンドの将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

●当資料は、販売用資料としてアムンディ・ジャパン株式会社が作成したものです。法令等に基づく開示書類ではありません。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性あるいは完全性について保証するものではありません。また、当資料中のいかなる内容も、将来の投資収益等を示唆または保証するものではありません。当資料中には、特定の資産、市場等に関する予測および将来見通しが含まれていることがありますが、実際に生じる事象は相違することがあります。当資料に記載されている内容は、全て当資料作成日以前のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。●ファンドは、投資対象ファンドへの投資を通じて主に債券など流動性のある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に実質的に投資しますので、組み入れた債券の値動き、為替相場等の影響によって基準価額は変動します。したがって金融機関の預貯金等と異なり、購入金額を下回り、損失が生じる場合があり、元金および分配金が保証されているものではありません。●ファンドは、実質的に外国債券等を主に組み入れますので、為替レートの変動により当該外国債券等の円換算価格が変動する「為替変動リスク」があります。●投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うことになります。●投資信託は預金ではなく、預金保険の対象とはなりません。●投資信託は保険契約ではなく、保険契約者保護機構の保護の対象とはなりません。●購入のお申込みを行う場合には、販売会社から投資信託説明書(交付目論見書)を必ずお受け取りいただき、ファンドの内容、リスク、手数料・費用等の詳細をご確認の上、ご自身の判断でお申込ください。

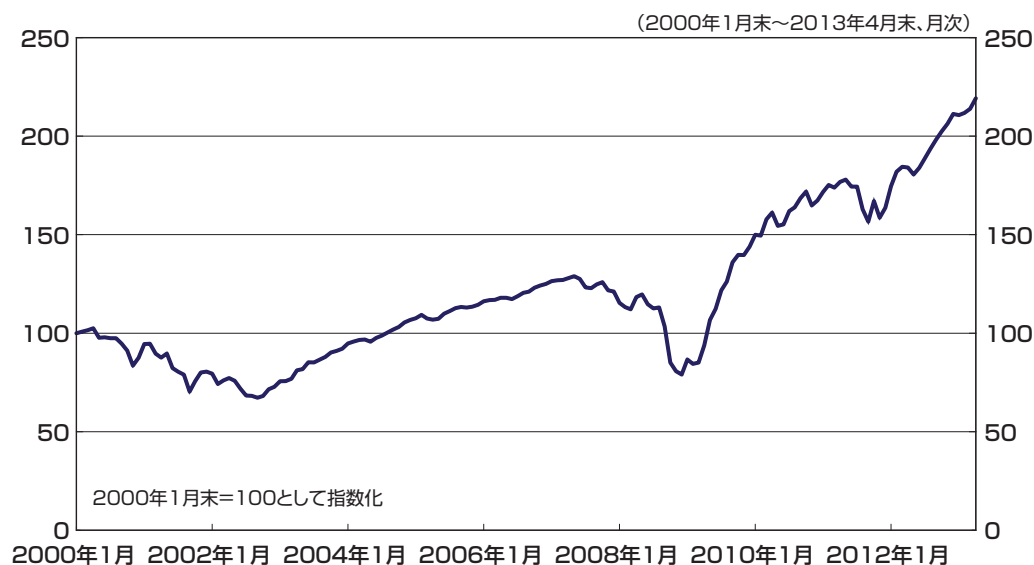
ハイイールド債の価格推移と利回り



■欧州ハイイールド債の価格は金融危機や欧州債務危機など様々な局面を経ながらも中長期的な観点では堅調に推移しています。

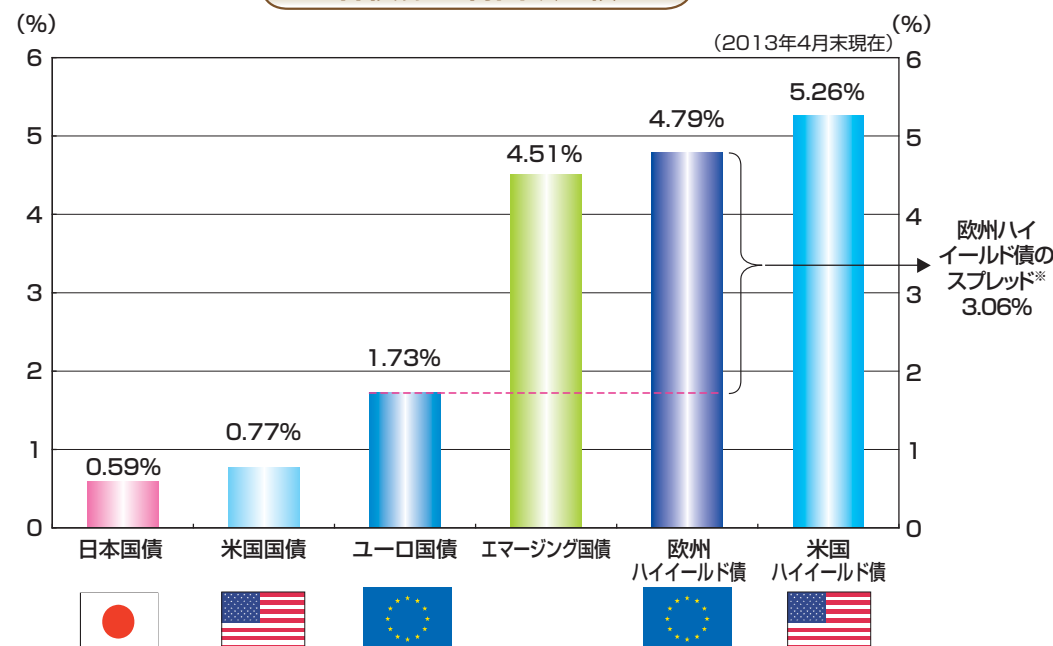
■各国国債と比べて、欧州ハイイールド債は相対的に高い利回りとなっています。

欧州ハイイールド債指数の推移



出所:ブルームバーグのデータを基に、アムンディ・ジャパン株式会社が作成。
欧州ハイイールド債:BofAML・ヨーロッパ・カレンシー・ハイイールド・コンストレイント・インデックスを使用。

各債券の利回り比較



*スプレッドとは、欧州ハイイールド債とユーロ国債の利回り格差です。小数点以下は四捨五入の関係で一致しない場合があります。

出所:ブルームバーグのデータを基に、アムンディ・ジャパン株式会社が作成。
日本国債:シティグループ日本国債インデックス、米国国債:シティグループ米国国債インデックス、ユーロ国債:シティグループユーロ国債インデックス、エマージング国債:JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイド・インデックス、欧州ハイイールド債:BofAML・ヨーロッパ・カレンシー・ハイイールド・コンストレイント・インデックス、米国ハイイールド債:BofAML・USハイイールド・マスター・II・コンストレイント・インデックスの各利回り。

上記は過去のデータであり、将来を示唆あるいは保証するものではありません。また、各ファンドの運用実績ではありません。各ファンドの将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

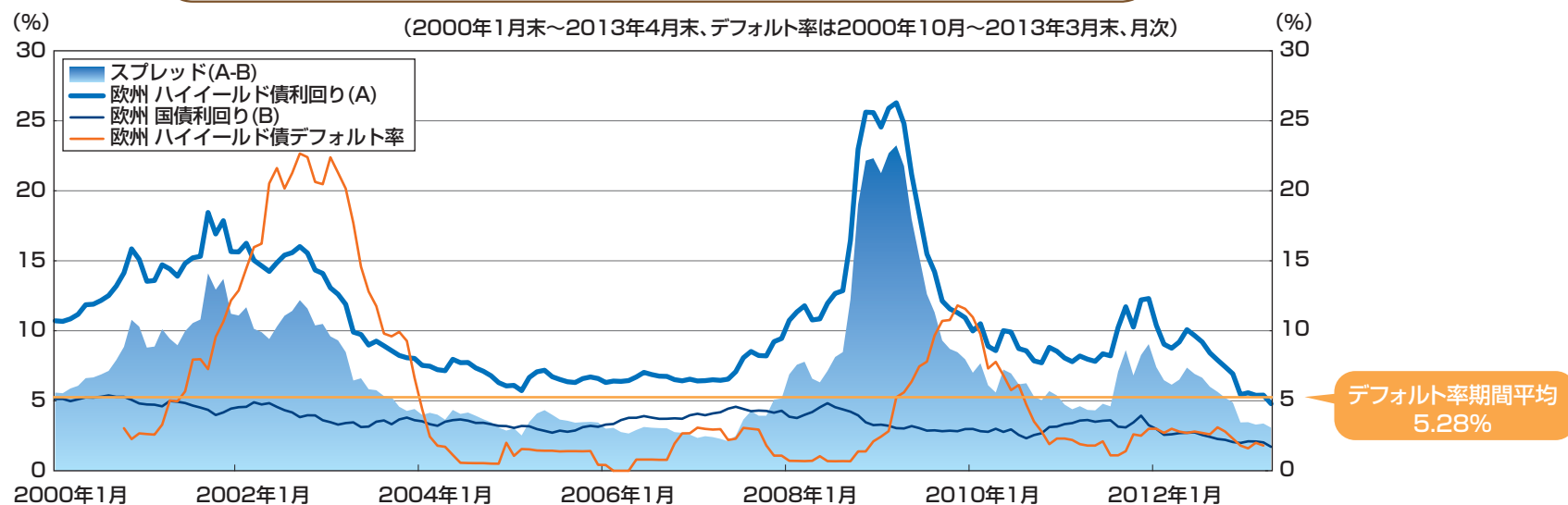
●当資料は、販売用資料としてアムンディ・ジャパン株式会社が作成したものです。法令等に基づく開示書類ではありません。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性あるいは完全性について保証するものではありません。また、当資料中のいかなる内容も、将来の投資収益等を示唆または保証するものではありません。当資料中には、特定の資産、市場等に関する予測および将来見通しが含まれていることがありますが、実際に生じる事象はかなり相違することがあります。当資料に記載されている内容は、全て当資料作成日以前のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。●ファンドは、投資対象ファンドへの投資を通じて主に債券など値動きのある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に実質的に投資しますので、組み入れた債券の値動き、為替相場等の影響によって基準価額は変動します。したがって金融機関の預貯金等と異なり、購入金額を下回り、損失が生じる場合があります。元金および分配金が保証されているものではありません。●ファンドは、実質的に外国債券等を主に組み入れますので、為替レートの変動により当該外国債券等の円換算価格が変動する「為替変動リスク」があります。●投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うことになります。●投資信託は預金ではなく、預金保険の対象とはなりません。●投資信託は保険契約ではなく、保険契約者保護機構の保護の対象とはなりません。●購入のお申込みを行う場合には、販売会社から投資信託説明書(交付目論見書)を必ずお受け取りいただき、ファンドの内容、リスク、手数料・費用等の詳細をご確認の上、ご自身の判断でお申込ください。

ハイイールド債の спреッドとデフォルト率



- 欧州債務問題等によるリスク許容度の変動によりスプレッドは拡大、縮小を繰り返しています。
- しかしながら、欧州企業は生産性向上とコスト削減を通じて財務体質を改善した結果、信用の質が強化されており、2013年3月末現在のデフォルト率は1.80%と、当該期間(2000年10月末～2013年3月)の平均(5.28%)と比べても低水準にあります。

欧州ハイイールド債 スプレッド(国債との比較)とデフォルト率の推移



- スプレッド：「広がり」「差」を意味します。上記グラフは国債とハイイールド債の流通利回りの差を表しています。金融資産全般に市場環境が悪く、リスク資産に対する選好度が弱い場合には、国債に資金が向かい、格付の低いハイイールド債は敬遠される傾向(ハイイールド債の利回りの上昇、あるいは国債の利回りの低下)となり、スプレッドが拡大します。市場環境が回復し、投資家のリスク選好度が増してくると、ハイイールド債等のリスク資産が相対的に選好される傾向(ハイイールド債の利回りの低下、あるいは国債の利回りの上昇)となり、スプレッドが縮小します。
- デフォルト率：債券の元金(利金および償還金)の支払ができなくなる銘柄の市場に占める割合のことです。デフォルト率の上昇は企業の資金繰りが悪化、デフォルト率の低下は企業の資金繰りが改善していること等を表しています。

※金利が低下した場合には債券価格は上昇し、金利が上昇した場合には債券価格は下落します。

(出所)ブルームバーグ、ムーディーズ社のデータを基に、アムンディ・ジャパン株式会社が作成。

欧州ハイイールド債:BofAML・ヨーロッパ・カレンシー・ハイイールド・コンストレイント・インデックス、欧州国債:シティグループユーロ国債インデックスを使用。

上記は過去のデータであり、将来を示唆あるいは保証するものではありません。また、各ファンドの運用実績ではありません。各ファンドの将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

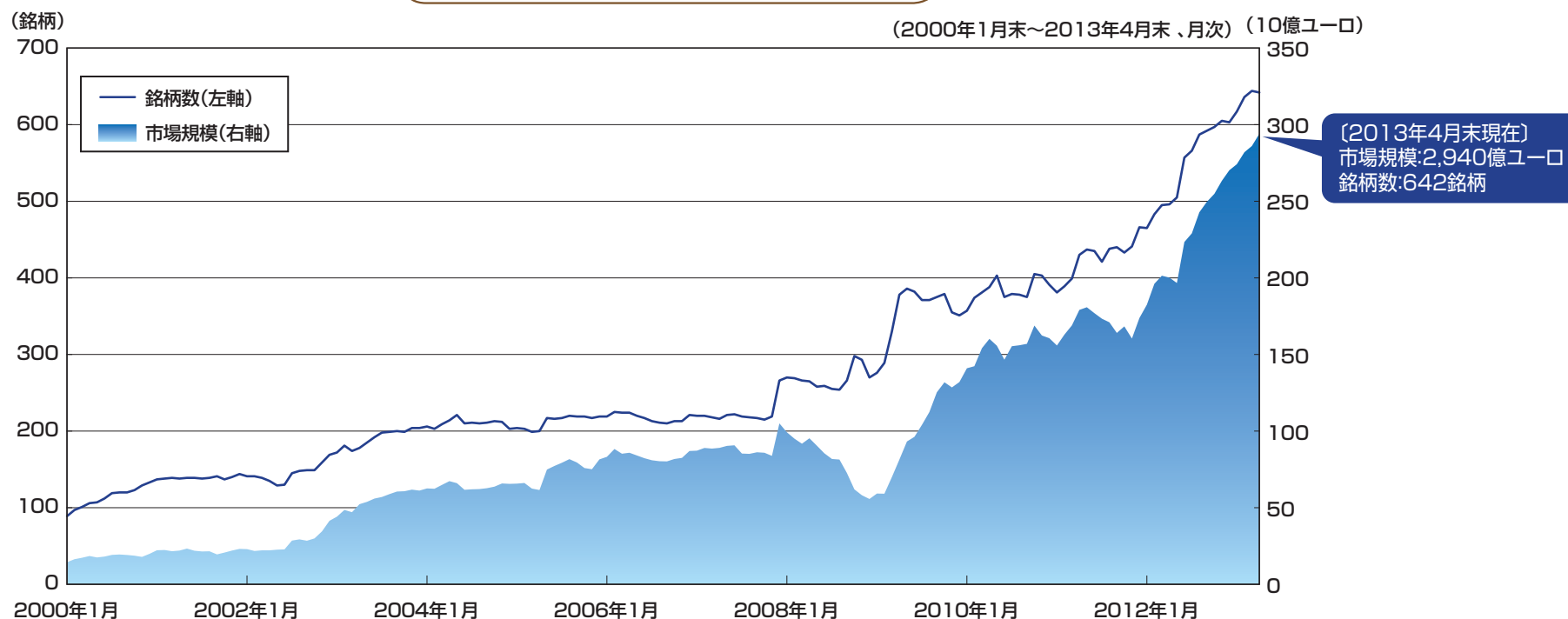
●当資料は、販売用資料としてアムンディ・ジャパン株式会社が作成したものです。法令等に基づく開示書類ではありません。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性あるいは完全性について保証するものではありません。また、当資料中のいかなる内容も、将来の投資収益等を示唆または保証するものではありません。当資料中には、特定の資産、市場等に関する予測および将来見通しが含まれていることがありますが、実際に生じ得る事象はかなりの相違することがあります。当資料に記載されている内容は、全て当資料作成日以前のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。●ファンドは、投資対象ファンドへの投資を通じて主に債券など値動きのある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に実質的に投資しますので、組み入れた債券の値動き、為替相場等の影響によって基準価額は変動します。したがって金融機関の預貯金等と異なり、購入金額を下回り、損失が生じる場合があります。元金および分配金が保証されているものではありません。●ファンドは、実質的に外国債券等を主に組み入れますので、為替レートの変動により当該外国債券等の円換算価格が変動する「為替変動リスク」があります。●投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うことになります。●投資信託は預金ではなく、預金保険の対象とはなりません。●投資信託は保険契約ではなく、保険契約者保護機構の保護の対象とはなりません。●購入のお申込みを行う場合には、販売会社から投資信託説明書(交付目論見書)を必ずお受け取りいただき、ファンドの内容、リスク、手数料・費用等の詳細をご確認の上、ご自身の判断でお申込ください。

ハイイールド債の市場規模

販売用資料

- 欧州ハイイールド債の市場は、新規発行体の参入等により拡大しています。
- 時価総額、銘柄数ともに、直近数年で増加しており、市場規模は拡大しています。

欧州ハイイールド債 市場規模の推移



出所: ブルームバークのデータを基に、アムンディ・ジャパン株式会社が作成。

欧州ハイイールド債: 2007年11月末まではBofAML・ヨーロッパ・カレンシー・ハイ・イールド・インデックス、2007年12月末以降はBofAML・ユーロ/スターリング・カレンシー・フィックスド・フローティング・レート・ハイ・イールド・インデックスを使用。

上記は過去のデータであり、将来を示唆あるいは保証するものではありません。また、各ファンドの運用実績ではありません。各ファンドの将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

●当資料は、販売用資料としてアムンディ・ジャパン株式会社が作成したものです。法令等に基づく開示書類ではありません。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性あるいは完全性について保証するものではありません。また、当資料中のいかなる内容も、将来の投資収益等を示唆または保証するものではありません。当資料中には、特定の資産、市場等に関する予測および将来見通しが含まれていることがありますが、実際に生じる事象はかなり相違することがあります。当資料に記載されている内容は、全て当資料作成日以前のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。●ファンドは、投資対象ファンドへの投資を通じて主に債券など値動きのある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に実質的に投資しますので、組み入れた債券の値動き、為替相場等の影響によって基準価額は変動します。したがって金融機関の預貯金等と異なり、購入金額を下回り、損失が生じる場合があります。元金および分配金が保証されているものではありません。●ファンドは、実質的に外国債券等を主に組み入れますので、為替レートの変動により当該外国債券等の円換算価格が変動する「為替変動リスク」があります。●投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うことになります。●投資信託は預金ではなく、預金保険の対象とはなりません。●投資信託は保険契約ではなく、保険契約者保護機構の保護の対象とはなりません。●購入のお申込みを行う場合には、販売会社から投資信託説明書(交付目論見書)を必ずお受け取りいただき、ファンドの内容、リスク、手数料・費用等の詳細をご確認の上、ご自身の判断でお申込ください。

為替取引によるプレミアム/コストについて

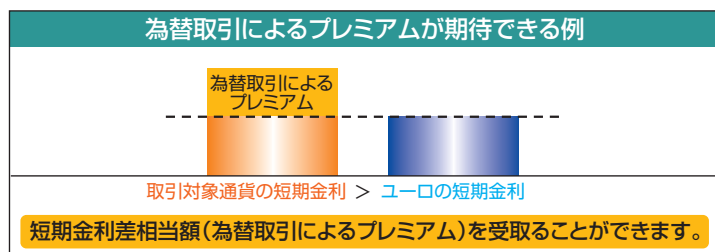


■ユーロより金利が高い通貨で為替取引を行う場合は、**プレミアム(金利差相当分の収益)**が期待できます。
また、ユーロより金利が低い通貨で為替取引を行う場合は、**コスト(金利差相当分の費用)**が生じます。

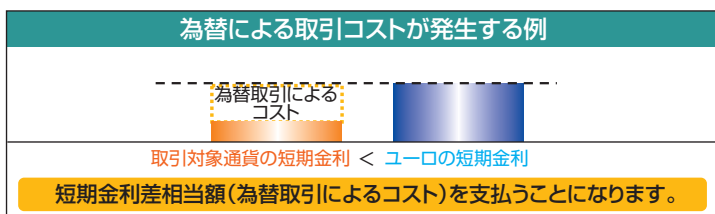
ブラジルレアルについては、実際の為替取引はNDF取引等によって行われます。NDF取引による為替取引では、取引時点の短期金利水準から想定される為替取引によるプレミアム/コストと大きく乖離する場合があります、ファンドのパフォーマンスに影響を与えることがあります。NDF取引については10ページの「NDF取引について」をご参照ください。

為替取引とは、主に為替予約取引等を利用して、実質的な投資対象である通貨を換える手段です。ブラジルレアルコース、資源国通貨コース、豪ドルコースおよびトルコリラコースでは、**ユーロ売り/取引対象通貨買いの為替取引を行います**。為替取引を行うことにより、円に対する取引対象通貨の為替変動の影響を受けます。「円コース」以外はユーロまたは取引対象通貨に対する円での為替ヘッジを行いませんので、ご注意ください。

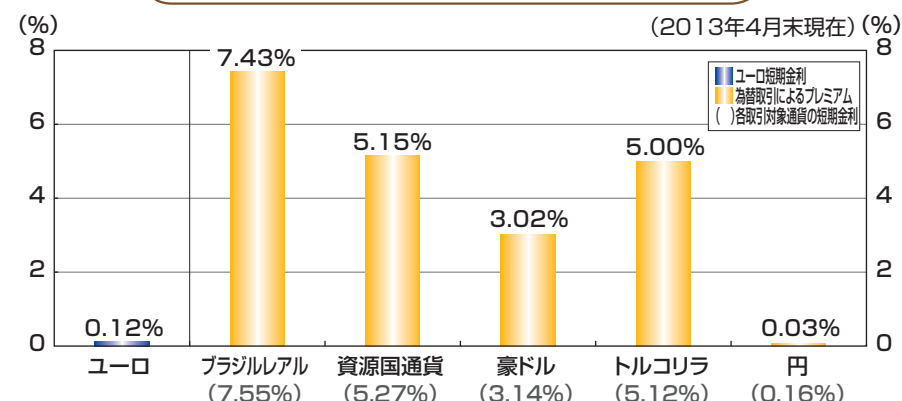
◆ユーロより金利が高い通貨で為替取引を行う場合は、**プレミアム(金利差相当分の収益)**が期待できます。



◆ユーロより金利が低い通貨で為替取引を行う場合は、**コスト(金利差相当分の費用)**が生じます。



為替取引によるプレミアム/コスト



*金利が低い通貨で為替取引を行う場合は、コスト(金利差相当分の費用)が生じますので、基準価額の下落要因となります。
*為替取引によるプレミアム/コストは、おおそ取引対象通貨の短期金利からユーロの短期金利を差引いた値で簡便的に計算しています。

出所: ブルームバーグのデータを基に、アムンディ・ジャパン株式会社が作成。

*小数点以下、四捨五入の関係で各取引対象通貨の短期金利と、為替取引によるプレミアム/コストとユーロの短期金利合計が一致しない場合があります。

各通貨の短期金利 ユーロ:3ヵ月LIBOR、ブラジルレアル:3ヵ月CD(譲渡性預金証書)レート、豪ドル:3ヵ月LIBOR、南アフリカランド:ヨハネスブルグ・インターバンク・アグリッドレート3ヵ月、トルコリラ:3ヵ月TRLIBOR、円:3ヵ月LIBORより算出。

・上記金利は、先物為替レート等を概算する際の目安として参照する金利であり、実際に為替取引を行う先物為替等の市場値から逆算される金利とは異なる場合があります。したがって上記の2通貨間の金利差から計算される為替取引によるプレミアム/コスト相当額が、実際のファンドで生じる為替取引によるプレミアム/コストと同一になるとは限りません。

・将来の為替取引によるプレミアム/コストの数値を保証するものではありません。

・ブラジルレアルについては、実際の為替取引はNDF取引等によって行いますので、当該NDF取引等により逆算されるブラジルレアル金利と上記金利は異なります。

為替取引を行う際に、外国籍投資信託が保有する実質的なユーロ建資産額と為替取引額を一致させることができないため、ユーロと取引対象通貨の金利差を十分に享受することができない可能性があります。
上記は過去のデータであり、将来を示唆あるいは保証するものではありません。また、各ファンドの運用実績ではありません。各ファンドの将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

●当資料は、販売用資料としてアムンディ・ジャパン株式会社が作成したものです。法令等に基づく開示書類ではありません。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性あるいは完全性について保証するものではありません。また、当資料中のいかなる内容も、将来の投資収益等を示唆または保証するものではありません。当資料中には、特定の資産、市場等に関する予測および将来見通しが含まれていることがありますが、実際に生ずる事象はかなり相違することがあります。当資料に記載されている内容は、全て当資料作成日以前のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。●ファンドは、投資対象ファンドへの投資を通じて主に債券など流動性のある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に実質的に投資しますので、組み入れた債券の流動性、為替相場等の影響によって基準価額は変動します。したがって金融機関の預貯金等と異なり、購入金額を下回り、損失が生じる場合があります。元金および分配金が保証されているものではありません。●ファンドは、実質的に外国債券等を主に組み入れますので、為替レートの変動により当該外国債券等の円換算価格が変動する「為替変動リスク」があります。●投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うことになります。●投資信託は預金ではなく、預金保険の対象とはなりません。●投資信託は保険契約ではなく、保険契約者保護機構の保護の対象とはなりません。●購入のお申込みを行う場合には、販売会社から投資信託説明書(交付目論見書)を必ずお受け取りいただき、ファンドの内容、リスク、手数料・費用等の詳細をご確認の上、ご自身の判断でお申込ください。



■NDF取引とは、Non Deliverable Forward (ノン・デリバラブル・フォワード) の略で、為替予約取引と類似した取引手法です。通貨取引に対する規制等の理由から、為替予約取引を行うことが難しい通貨の取引に活用されています。実際の通貨の受渡しを伴わず、取引時に当事者間で設定したレートと、決済期日の市場レートとの差額を算出し、差損益だけを主要通貨 (主に米ドル) で決済する先物取引です。

NDF取引の留意点

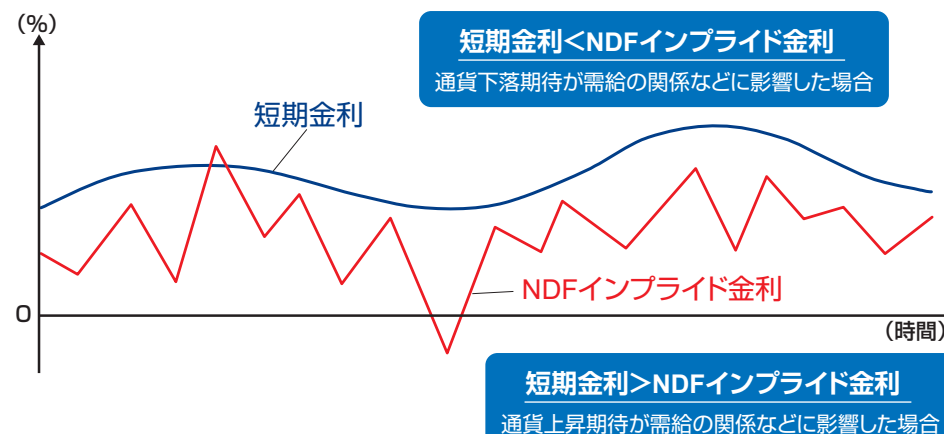
- ◆NDF取引を用いた為替取引においては、為替市場や金利、需給といった変動要因により、NDFインプライド金利 (NDF取引時のレートから想定される金利) が、当該通貨の短期金利の水準から大きく乖離する場合があります。この場合、想定される期待収益性と運用成果が大きく異なる場合がありますのでご注意ください。
- ◆NDFインプライド金利は、①スポットレートの変動②短期金利差③為替の見通しを反映した需給などによって変動します。

為替予約取引とNDF取引

- ◆為替予約取引が主流であるものの、新興国通貨等への取引ニーズの高まりと共に、NDF取引が活用されるようになりました。

	対象通貨	決済	投資家	流動性	金利差
為替予約取引	米ドル、ユーロ、豪ドル、英ポンドなど先進国通貨やトルコリラ	予約した対象通貨現物	一般企業	高い	連動する
NDF取引	中国元、ブラジルレアル、インドルピー、インドネシアルピアなどの規制通貨	主に米ドルによる差金決済	主に金融機関	低い	連動しにくい

短期金利とNDFインプライド金利が乖離するイメージ



NDFインプライド金利※ (2013年4月末現在)

ブラジルレアル	資源国通貨
5.05%	4.35%

※NDFインプライド金利は、日々の変動が大きいため20日移動平均を使用しています。また、当資料で用いられているNDFインプライド金利はブルームバーグが集計・公表している数値であり、ファンドにおける実際のNDFインプライド金利とは異なる場合があります。

上記はNDF取引や為替市場に関する説明の一部であり、NDF取引および為替市場についてすべてを網羅したものではありません。

上記の要因以外でも、ユーロの短期金利が上昇した場合は、為替取引によるプレミアムが減少したり、為替取引によるコストが生じる可能性があります。

●当資料は、販売用資料としてアムンディ・ジャパン株式会社で作成したものです。法令等に基づく開示書類ではありません。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性あるいは完全性について保証するものではありません。また、当資料中のいかなる内容も、将来の投資収益等を示唆または保証するものではありません。当資料中には、特定の資産、市場等に関する予測および将来見通しが含まれていることがありますが、実際に生ずる事象はかなり相違することがあります。当資料に記載されている内容は、全て当資料作成日以前のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。●ファンドは、投資対象ファンドへの投資を通じて主に債券など値動きのある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に実質的に投資しますので、組み入れた債券の値動き、為替相場等の影響によって基準価額は変動します。したがって金融機関の預貯金等と異なり、購入金額を下回り、損失が生じる場合があります。元金および分配金が保証されているものではありません。●ファンドは、実質的に外国債券等を主に組み入れますので、為替レートの変動により当該外国債券等の円換算価格が変動する「為替変動リスク」があります。●投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うことになります。●投資信託は預金ではなく、預金保険の対象とはなりません。●投資信託は保険契約ではなく、保険契約者保護機構の保護の対象とはなりません。●購入のお申込みを行う場合には、販売会社から投資信託説明書(交付目論見書)を必ずお受け取りいただき、ファンドの内容、リスク、手数料・費用等の詳細をご確認の上、ご自身の判断でお申込ください。

ハイイールド債と為替取引によるプレミアム/コストとの組合せ

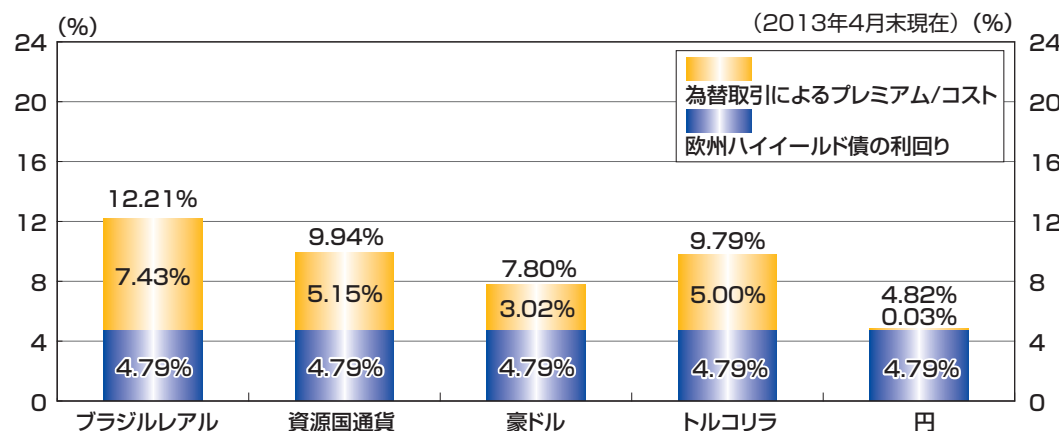


■取引対象通貨の短期金利がユーロの短期金利よりも高い場合、欧州ハイイールド債の利回りに為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)を上乗せすることで、より高い利回りが期待できます。

■円コースにおいてはコスト(金利差相当分の費用)が発生する場合がありますが、為替変動リスクの低減が期待できます。

ブラジルレアルについては、実際の為替取引はNDF取引等によって行われます。NDF取引による為替取引では、取引時点の短期金利水準から想定される為替取引によるプレミアム/コストと大きく乖離する場合があります、ファンドのパフォーマンスに影響を与えることがあります。NDF取引については10ページの「NDF取引について」をご参照ください。

欧州ハイイールド債の利回り+為替取引によるプレミアム/コスト



※金利が低い通貨で為替取引を行う場合は、コスト(金利差相当分の費用)が生じますので、基準価額の下落要因となります。

出所:ブルームバーグのデータを基に、アムンディ・ジャパン株式会社が作成。

*小数点以下、四捨五入の関係で為替取引によるプレミアム/コストと欧州ハイイールド債の利回りの合計が一致しない場合があります。

欧州ハイイールド債:Bof AML・ヨーロッパ・カレンシー・ハイ・イールド・コンストリント・インデックス

各通貨の短期金利 ユーロ:3ヵ月LIBOR、ブラジルレアル:3ヵ月CD(譲渡性預金証書)レート、資源国通貨:ブラジルレアル(3ヵ月CD(譲渡性預金証書)レート)、豪ドル(3ヵ月LIBOR)、南アフリカランド(ヨハネスブルグ・インターバンク・アグリレート(3ヵ月)の各短期金利を均等配分、豪ドル:3ヵ月LIBOR、トルコリラ:3ヵ月TRLIBOR、円:3ヵ月LIBORより算出。

・上記金利は、先物為替レート等を概算する際の目安として参照する金利であり、実際に為替取引を行う先物為替等の市場値から逆算される金利とは異なる場合があります。したがって上記の2通貨間の金利差から計算される為替取引によるプレミアム/コスト相当値が、実際のファンドで生じる為替取引によるプレミアム/コストと同一になるとは限りません。

・将来の為替取引によるプレミアム/コストの数値を保証するものではありません。・ブラジルレアルについては、実際の為替取引はNDF取引等によって行いますので、当該NDF取引等により逆算されるブラジルレアル金利と上記金利は異なります。

上記は過去のデータであり、将来を示唆あるいは保証するものではありません。また、各ファンドの運用実績ではありません。各ファンドの将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

為替変動リスクについて

- ◆実質的なユーロ建資産に対して取引対象通貨での為替取引を行うと、主に円に対するユーロの為替変動リスクから、円に対する各取引対象通貨の為替変動リスクへと変わります。
- ◆為替取引を行う際に、外国籍投資信託が保有する実質的なユーロ建資産額と為替取引額を一致させることができないため、ユーロと取引対象通貨の金利差を十分に享受することができない可能性があります。
- ◆円コースでは対円での為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではなく、主に円に対するユーロの為替変動の影響を受ける可能性があります。
- ◆ユーロコースについては、対円での為替ヘッジを行いません。

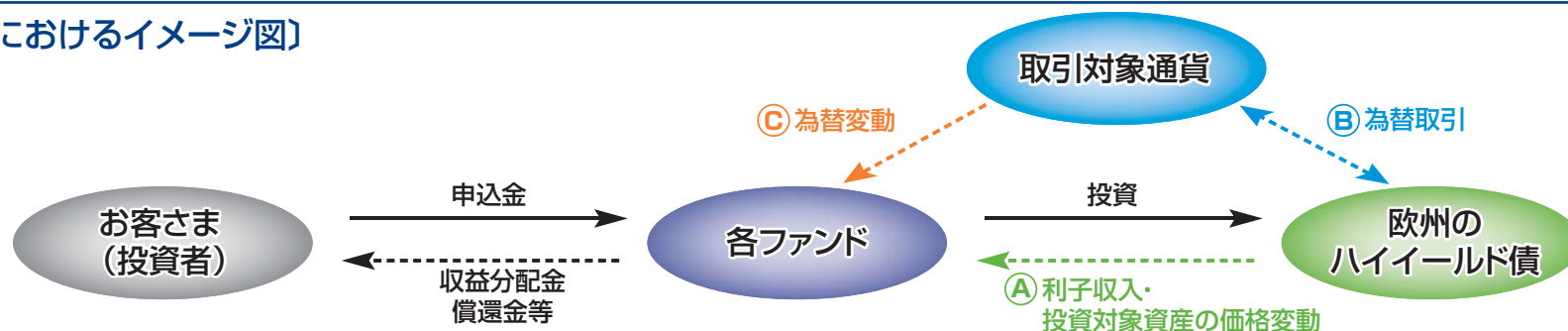
●当資料は、販売用資料としてアムンディ・ジャパン株式会社が作成したものです。法令等に基づく開示書類ではありません。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性あるいは完全性について保証するものではありません。また、当資料中のいかなる内容も、将来の投資収益等を示唆または保証するものではありません。当資料中には、特定の資産、市場等に関する予測および将来見通しが含まれていることがありますが、実際に生じる事象はかなり相違することがあります。当資料に記載されている内容は、全て当資料作成日以前のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。●ファンドは、投資対象ファンドへの投資を通じて主に債券など値動きのある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に実質的に投資しますので、組み入れた債券の値動き、為替相場等の影響によって基準価額は変動します。したがって金融機関の預貯金等と異なり、購入金額を下回り、損失が生じる場合があります。元金および分配金が保証されているものではありません。●ファンドは、実質的に外国債券等を主に組み入れますので、為替レートの変動により当該外国債券等の円換算価格が変動する「為替変動リスク」があります。●投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うことになります。●投資信託は預金ではなく、預金保険の対象とはなりません。●投資信託は保険契約ではなく、保険契約者保護機構の保護の対象とはなりません。●購入のお申込みを行う場合には、販売会社から投資信託説明書(交付目論見書)を必ずお受け取りいただき、ファンドの内容、リスク、手数料・費用等の詳細をご確認の上、ご自身の判断でお申込ください。

通貨選択型投資信託の収益/損失に関するご説明

〔通貨選択型投資信託の収益のイメージ〕

- 通貨選択型の投資信託は、株式や債券などの投資対象資産への投資に加えて、為替取引の対象通貨を選択できるように設計された投資信託です。
 なお、各ファンドの実質的な投資対象資産は欧州のハイイールド債です。

〔各ファンドにおけるイメージ図〕



* 取引対象通貨が円以外の場合には、当該取引対象通貨の対円での為替リスクが発生することに留意が必要です。

* 各ファンドは、実際の運用においてはファンド・オブ・ファンズ方式により運用を行います。

* ユーロコースでは原則として対円での為替ヘッジを行いません。円コースでは、対円での為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図ります。

- 各ファンドの収益源としては、以下の3つの要素が挙げられます。

これらの収益源に相応してリスクが内在していることに注意が必要です。

収益の源泉		=		+		+	
		A 欧州のハイイールド債		B 為替取引		C 為替変動	
		利子収入・投資対象資産の値上がり/値下がり		為替取引によるプレミアム/コスト		為替差益/為替差損	
収益を得られるケース	- 金利の低下 - 発行体の信用状況の改善	債券価格の上昇 債券価格の下落		取引対象通貨の短期金利 > ユーロの短期金利	プレミアム(金利差相当分の収益)の発生 コスト(金利差相当分の費用)の発生		- 円に対して取引対象通貨高 - 円に対してユーロ高(ユーロコースの場合)
損失やコストが発生するケース	- 金利の上昇 - 発行体の信用状況の悪化			取引対象通貨の短期金利 < ユーロの短期金利	*ユーロコースを除きます* ^{※1} 。		- 円に対して取引対象通貨安 - 円に対してユーロ安(ユーロコースの場合)
						円コースを除きます ^{※2} 。	

※1 ユーロコースでは、原則として対円での為替ヘッジを行いません。

※2 円コースでは、原則として対円での為替ヘッジを行うことで為替変動リスクの低減を図ります。ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではなく、主に円に対するユーロの為替変動の影響を受ける可能性があります。

* 一部の取引対象通貨については、NDF取引を用いて為替取引を行います。NDF取引による価格は需給や当該通貨に対する期待等により、金利差から想定される為替取引の価格と大きく乖離し、当該金利差から想定される期待収益性と運用成果が大きく異なる場合があります。

* 市況動向等によっては、上記の通りにならない場合があります。

●当資料は、販売用資料としてアムンディ・ジャパン株式会社が作成したものです。法令等に基づく開示書類ではありません。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性あるいは完全性について保証するものではありません。また、当資料中のいかなる内容も、将来の投資収益等を示唆または保証するものではありません。当資料中には、特定の資産、市場等に関する予測および将来見通しが含まれていることがありますが、実際に生じる事象はかなりの相違することがあります。当資料に記載されている内容は、全て当資料作成日以前のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。●ファンドは、投資対象ファンドへの投資を通じて主に債券など値動きのある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に実質的に投資しますので、組み入れた債券の値動き、為替相場等の影響によって基準価額は変動します。したがって金融機関の預貯金等と異なり、購入金額を下回り、損失が生じる場合があります。元金および分配金が保証されているものではありません。●ファンドは、実質的に外国債券等を主に組み入れますので、為替レートの変動により当該外国債券等の円換算価格が変動する「為替変動リスク」があります。●投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うことになります。●投資信託は預金ではなく、預金保険の対象とはなりません。●投資信託は保険契約ではなく、保険契約者保護機構の保護の対象とはなりません。●購入のお申込みを行う場合には、販売会社から投資信託説明書(交付目論見書)を必ずお受け取りいただき、ファンドの内容、リスク、手数料・費用等の詳細をご確認の上、ご自身の判断でお申込ください。

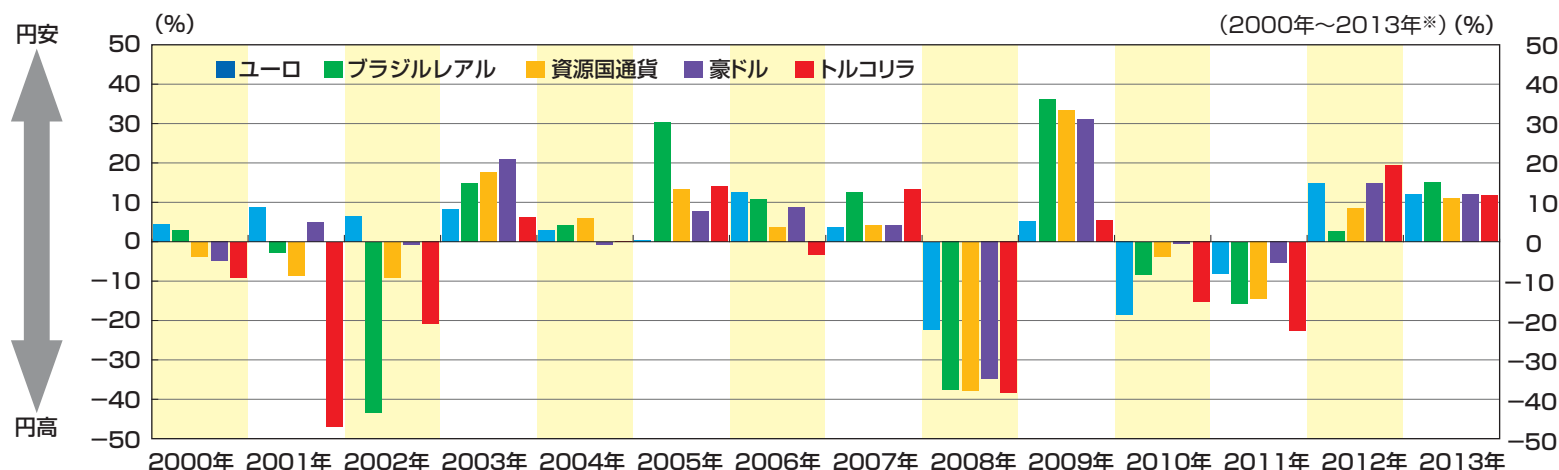
取引対象通貨の為替リスク(対円レート)



■為替差益も収益源の一つとなります。

■ユーロおよび、取引対象通貨(円コースを除く)が対円で上昇(円安)した場合、為替差益を得ることができます。
反対に、ユーロおよび取引対象通貨(円コースを除く)が対円で下落(円高)した場合、為替差損が発生します。

ユーロ、ブラジルレアル、資源国通貨、豪ドル、トルコリラの対円変化率(年次)



各通貨の対円最大上昇率・最大下落率(年次)

	ユーロ	ブラジルレアル	資源国通貨	豪ドル	トルコリラ
最大上昇率	14.88%	36.14%	33.40%	31.06%	19.43%
最大下落率	-22.28%	-43.32%	-37.76%	-34.85%	-46.95%

*月次データを基に算出。ただし、2013年は、2012年末と2013年4月末の変化率。
出所: プレムバークのデータを基に、アムンディ・ジャパン株式会社が作成。

上記は過去のデータであり、将来を示唆あるいは保証するものではありません。また、各ファンドの運用実績ではありません。各ファンドの将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

●当資料は、販売用資料としてアムンディ・ジャパン株式会社が作成したものです。法令等に基づく開示書類ではありません。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性あるいは完全性について保証するものではありません。また、当資料中のいかなる内容も、将来の投資収益等を示唆または保証するものではありません。当資料中には、特定の資産、市場等に関する予測および将来見通しが含まれていることがありますが、実際に生じる事象はかなり相違することがあります。当資料に記載されている内容は、全て当資料作成日以前のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。●ファンドは、投資対象ファンドへの投資を通じて主に債券など値動きのある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に実質的に投資しますので、組み入れた債券の値動き、為替相場等の影響によって基準価額は変動します。したがって金融機関の預貯金等と異なり、購入金額を下回り、損失が生じる場合があります。元金および分配金が保証されているものではありません。●ファンドは、実質的に外国債券等を主に組み入れますので、為替レートの変動により当該外国債券等の円換算価格が変動する「為替変動リスク」があります。●投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うことになります。●投資信託は預金ではなく、預金保険の対象とはなりません。●投資信託は保険契約ではなく、保険契約者保護機構の保護の対象とはなりません。●購入のお申込みを行う場合には、販売会社から投資信託説明書(交付目論見書)を必ずお受け取りいただき、ファンドの内容、リスク、手数料・費用等の詳細をご確認の上、ご自身の判断でお申込ください。

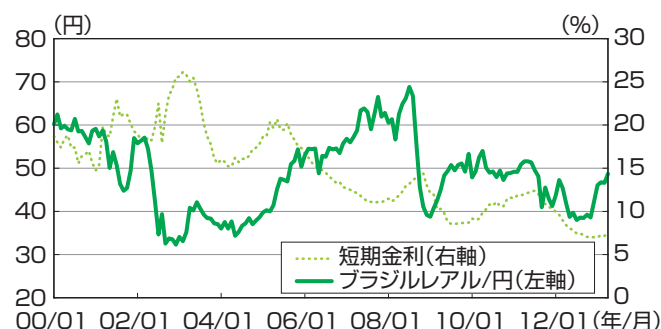
対円為替レートと短期金利の推移

■各コースの対円為替レートと短期金利の推移は下記のとおりです。(2000年1月末～2013年4月末、月次)

ユーロ



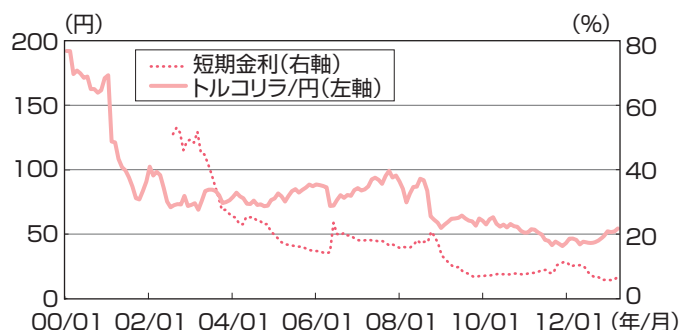
ブラジルレアル



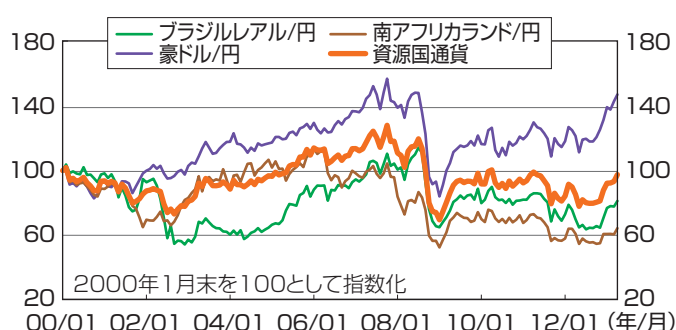
豪ドル



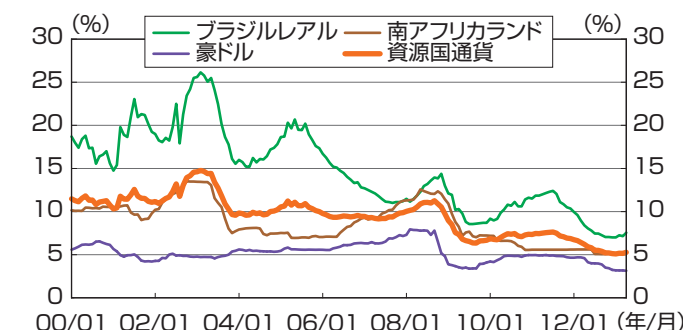
トルコリラ



資源国通貨の対円為替レート



資源国通貨の短期金利



*トルコリラの短期金利は2002年8月末から算出しています。

*資源国通貨の対円為替レートおよび短期金利の推移は、ブラジルレアル、豪ドル、南アフリカランドの各為替レートおよび短期金利をそれぞれ均等に配分したものです。

ブラジルレアルについては、実際の為替取引はNDF取引等によって行われます。NDF取引による為替取引では、取引時点の短期金利水準から想定される為替取引によるプレミアム/コストと大きく乖離する場合があります、ファンドのパフォーマンスに影響を与えることがあります。NDF取引については10ページの「NDF取引について」をご参照ください。

出所: プルームバーグのデータを基に、アムンディ・ジャパン株式会社が作成。

上記は過去のデータであり、将来を示唆あるいは保証するものではありません。また、各ファンドの運用実績ではありません。各ファンドの将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

●当資料は、販売用資料としてアムンディ・ジャパン株式会社が作成したものです。法令等に基づく開示書類ではありません。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性あるいは完全性について保証するものではありません。また、当資料中のいかなる内容も、将来の投資収益等を示唆または保証するものではありません。当資料中には、特定の資産、市場等に関する予測および将来見通しが含まれていることがありますが、実際に生じ得る事象は相違することがあります。当資料に記載されている内容は、全て当資料作成日以前のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。●ファンドは、投資対象ファンドへの投資を通じて主に債券など流動性のある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に実質的に投資しますので、組み入れた債券の流動性、為替相場等の影響によって基準価額は変動します。したがって金融機関の預貯金等と異なり、購入金額を下回り、損失が生じる場合があります。元金および分配金が保証されているものではありません。●ファンドは、実質的に外国債券等を主に組み入れますので、為替レートの変動により当該外国債券等の円換算価格が変動する「為替変動リスク」があります。●投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うことになります。●投資信託は預金ではなく、預金保険の対象とはなりません。●投資信託は保険契約ではなく、保険契約者保護機構の保護の対象とはなりません。●購入のお申込みを行う場合には、販売会社から投資信託説明書(交付目論見書)を必ずお受け取りいただき、ファンドの内容、リスク、手数料・費用等の詳細をご確認の上、ご自身の判断でお申込ください。

[ご参考]3つの収益源※を合わせたシミュレーション

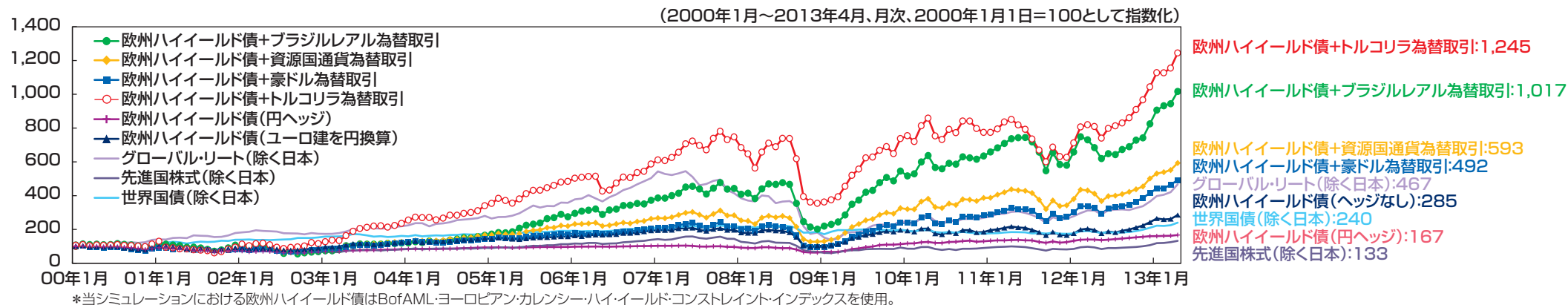
販売用資料

※3つの収益源:欧州ハイイールド債、為替取引、取引対象通貨の為替変動

下記は過去の市場指数、データを基にアムンディ・ジャパン株式会社が行った試算結果であり、各ファンドにおける運用実績ではありません。

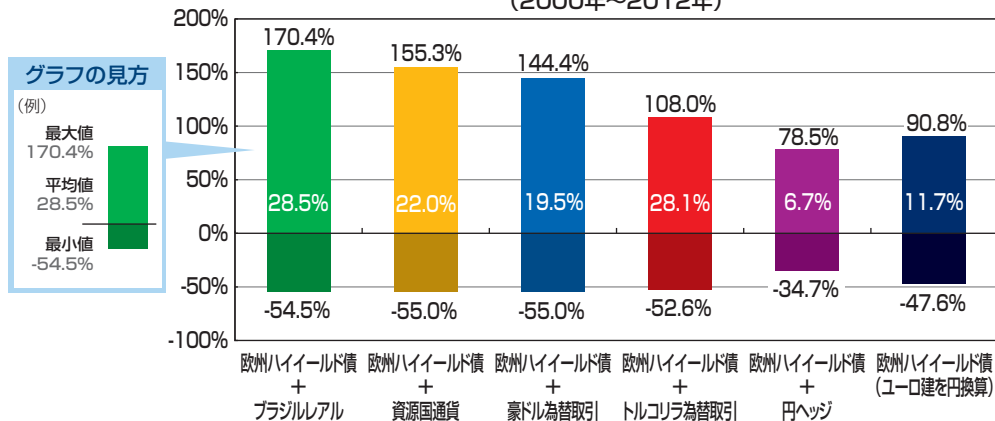
算出過程で取引コスト(為替取引によるコストは除く)や税金等は考慮されておりません。シミュレーションに使用したデータに関しては21ページ「ご留意事項等」をご参照ください。

各資産における指数推移(円換算)

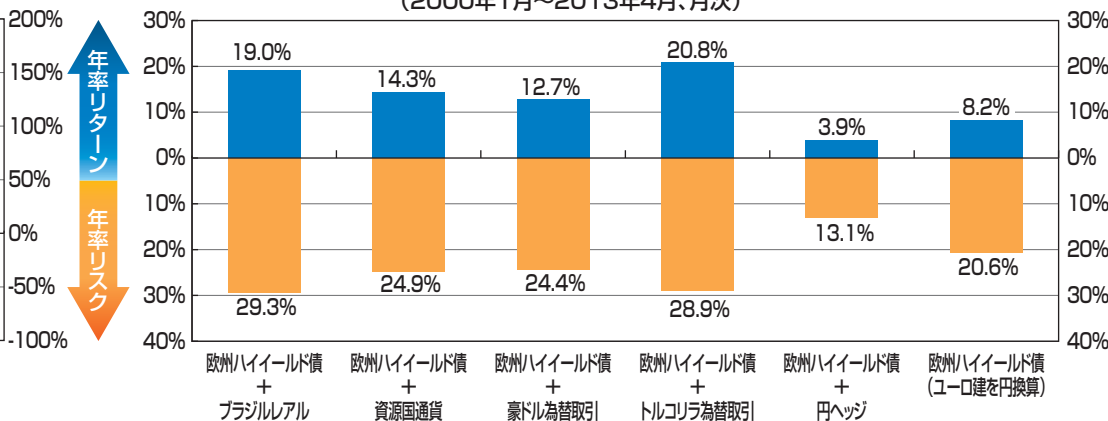


欧州ハイイールド債券+為替取引をした場合の試算(円換算)

年間リターン最大、最小、平均値
(2000年～2012年)



リスク/リターン(年率)
(2000年1月～2013年4月、月次)



出所:ブルームバーグのデータを基に、アムンディ・ジャパン株式会社が作成。

*リスクはリターンの月間変化率の標準偏差です。

上記は過去のデータであり、将来を示唆あるいは保証するものではありません。また、各ファンドの運用実績ではありません。各ファンドの将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

●当資料は、販売用資料としてアムンディ・ジャパン株式会社が作成したものです。法令等に基づく開示書類ではありません。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性あるいは完全性について保証するものではありません。また、当資料中のいかなる内容も、将来の投資収益等を示唆または保証するものではありません。当資料中には、特定の資産、市場等に関する予測および将来見通しが含まれていることがありますが、実際に発生する事象は相違することがあります。当資料に記載されている内容は、全て当資料作成日以前のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。●ファンドは、投資対象ファンドへの投資を通じて主に債券など値動きのある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に実質的に投資しますので、組み入れた債券の値動き、為替相場等の影響によって基準価額は変動します。したがって金融機関の預貯金等と異なり、購入金額を下回り、損失が生じる場合があります。元金および分配金が保証されているものではありません。●ファンドは、実質的に外国債券等を主に組み入れますので、為替レートの変動により当該外国債券等の円換算価格が変動する「為替変動リスク」があります。●投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うことになります。●投資信託は預金ではなく、預金保険の対象とはなりません。●投資信託は保険契約ではなく、保険契約者保護機構の保護の対象とはなりません。●購入のお申込みを行う場合には、販売会社から投資信託説明書(交付目論見書)を必ずお受け取りいただき、ファンドの内容、リスク、手数料・費用等の詳細をご確認の上、ご自身の判断でお申込ください。

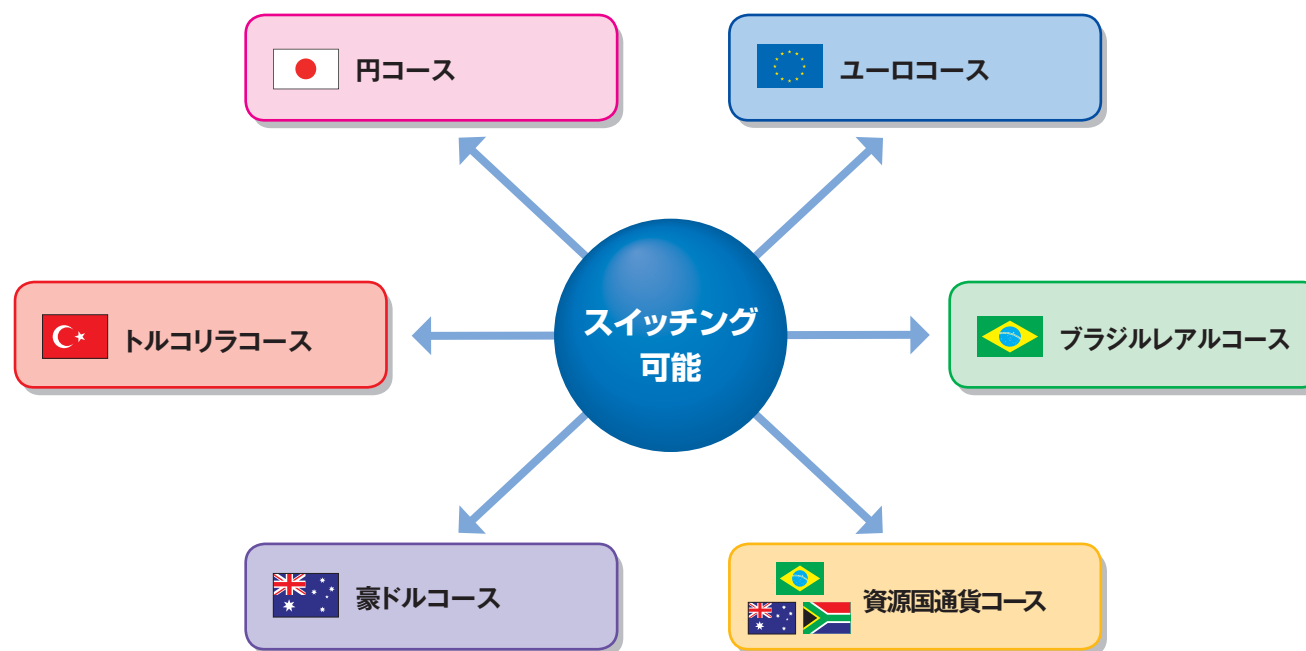
スイッチングについて



- スイッチングは、ユーロコース、ブラジルリアルコース、資源国通貨コース、豪ドルコース、トルコリラコース、円コースの各ファンド間において行うことが可能です。
- 原則、スイッチングの際には、ご換金時と同様に、譲渡益（個人の場合）に対して課税されます。（なお、税制が改正された場合などには変更になる場合があります。）また、ご換金時と同様に信託財産留保額がかかりますのでご注意ください。

市場環境等の変動に応じて、各ファンド間のスイッチングをご活用いただくことが可能です。

【イメージ図】 下図はファンドで行うことができるスイッチングのイメージ図です。



●当資料は、販売用資料としてアムディ・ジャパン株式会社が作成したものです。法令等に基づく開示書類ではありません。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性あるいは完全性について保証するものではありません。また、当資料中のいかなる内容も、将来の投資収益等を示唆または保証するものではありません。当資料中には、特定の資産、市場等に関する予測および将来見通しが含まれていることがありますが、実際に生ずる事象はかなり相違することがあります。当資料に記載されている内容は、全て当資料作成日以前のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。●ファンドは、投資対象ファンドへの投資を通じて主に債券など値動きのある有価証券（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）に実質的に投資しますので、組み入れた債券の値動き、為替相場等の影響によって基準価額は変動します。したがって金融機関の預貯金等と異なり、購入金額を下回り、損失が生じる場合があります。元金および分配金が保証されているものではありません。●ファンドは、実質的に外国債券等を主に組み入れますので、為替レートの変動により当該外国債券等の円換算価格が変動する「為替変動リスク」があります。●投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うことになります。●投資信託は預金ではなく、預金保険の対象とはなりません。●投資信託は保険契約ではなく、保険契約者保護機構の保護の対象とはなりません。●購入のお申込みを行う場合には、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）を必ずお受け取りいただき、ファンドの内容、リスク、手数料・費用等の詳細をご確認の上、ご自身の判断でお申込ください。

分配の方針と分配実績



■原則として毎月8日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行う予定です。

■分配金額は、分配対象額の範囲内で、基準価額水準および市況動向等を勘案して委託会社が決定します。



上記はイメージ図であり、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

決算日	ユーロコース	ブラジルリアルコース	資源国通貨コース	円コース	決算日	豪ドルコース	トルコリラコース
第16期(2012年5月8日)	80円	160円	135円	50円	第7期(2012年5月8日)	100円	140円
第17期(2012年6月8日)	80円	160円	135円	50円	第8期(2012年6月8日)	100円	140円
第18期(2012年7月9日)	80円	140円	135円	50円	第9期(2012年7月9日)	100円	140円
第19期(2012年8月8日)	80円	140円	135円	50円	第10期(2012年8月8日)	100円	140円
第20期(2012年9月10日)	80円	140円	135円	50円	第11期(2012年9月10日)	100円	140円
第21期(2012年10月9日)	80円	140円	135円	50円	第12期(2012年10月9日)	100円	140円
第22期(2012年11月8日)	80円	140円	135円	50円	第13期(2012年11月8日)	100円	140円
第23期(2012年12月10日)	80円	120円	115円	50円	第14期(2012年12月10日)	120円	140円
第24期(2013年1月8日)	80円	120円	115円	50円	第15期(2013年1月8日)	120円	140円
第25期(2013年2月8日)	80円	120円	115円	50円	第16期(2013年2月8日)	120円	140円
第26期(2013年3月8日)	80円	120円	115円	50円	第17期(2013年3月8日)	120円	140円
第27期(2013年4月8日)	80円	120円	115円	50円	第18期(2013年4月8日)	120円	140円
直近1年間累計	960円	1,620円	1,520円	600円	直近1年間累計	1,300円	1,680円
設定来累計	1,990円	3,880円	3,265円	1,250円	設定来累計	1,660円	2,200円

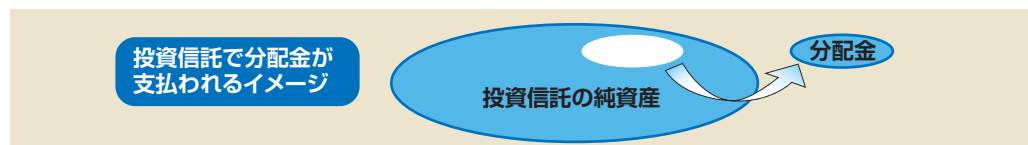
直近12カ月の分配実績です。分配金は1万口当たり/税引前です。分配金は「収益分配方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

上記は過去のデータであり、将来を示唆あるいは保証するものではありません。また、各ファンドの運用実績ではありません。各ファンドの将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

●当資料は、販売用資料としてアムンディ・ジャパン株式会社が作成したものです。法令等に基づく開示書類ではありません。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性あるいは完全性について保証するものではありません。また、当資料中のいかなる内容も、将来の投資収益等を示唆または保証するものではありません。当資料中には、特定の資産、市場等に関する予測および将来見通しが含まれていることがありますが、実際に生じる事象はかなり相違することがあります。当資料に記載されている内容は、全て当資料作成日以前のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。●ファンドは、投資対象ファンドへの投資を通じて主に債券など値動きのある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に実質的に投資しますので、組み入れた債券の値動き、為替相場等の影響によって基準価額は変動します。したがって金融機関の預貯金等と異なり、購入金額を下回り、損失が生じる場合があります。元金および分配金が保証されているものではありません。●ファンドは、実質的に外国債券等を主に組み入れますので、為替レートの変動により当該外国債券等の円換算価格が変動する「為替変動リスク」があります。●投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うことになります。●投資信託は預金ではなく、預金保険の対象とはなりません。●投資信託は保険契約ではなく、保険契約者保護機構の保護の対象とはなりません。●購入のお申込みを行う場合には、販売会社から投資信託説明書(交付目論見書)を必ずお受け取りいただき、ファンドの内容、リスク、手数料・費用等の詳細をご確認の上、ご自身の判断でお申込ください。

収益分配金に関する留意事項

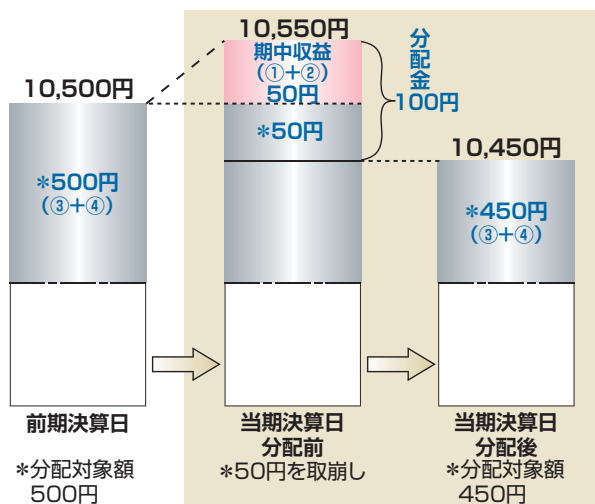
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。



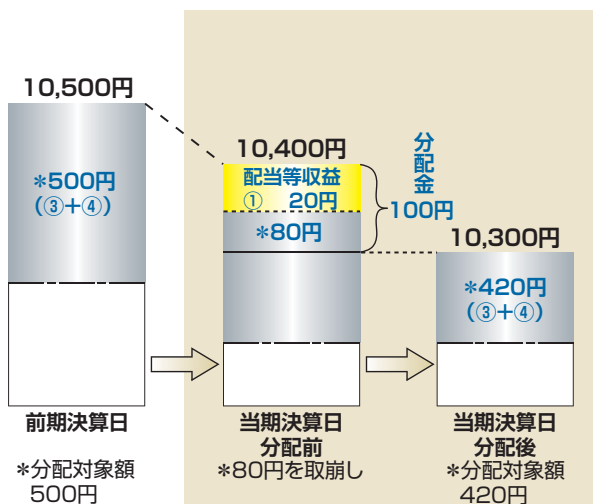
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算から基準価額が上昇した場合



前期決算から基準価額が下落した場合



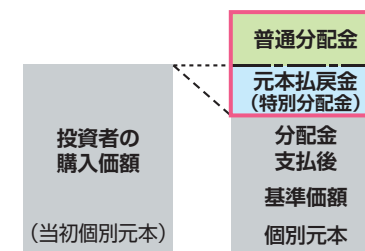
(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。

分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

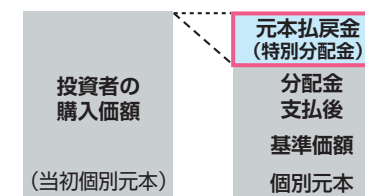
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は**非課税扱い**となります。

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金：個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

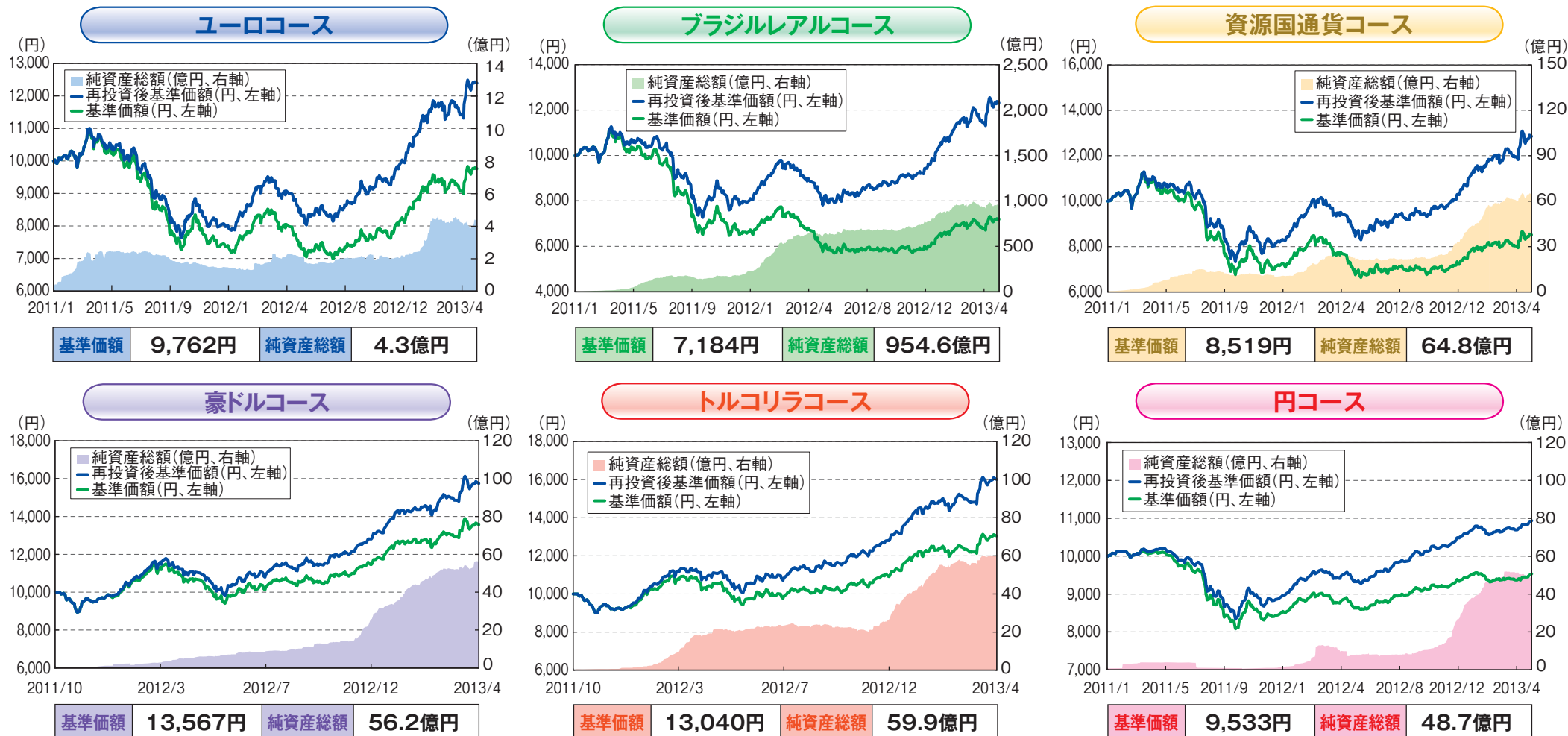
元本払戻金(特別分配金)：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

●当資料は、販売用資料としてアムンディ・ジャパン株式会社が作成したものです。法令等に基づく開示書類ではありません。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性あるいは完全性について保証するものではありません。また、当資料中のいかなる内容も、将来の投資収益等を示唆または保証するものではありません。当資料中には、特定の資産、市場等に関する予測および将来見通しが含まれていることがありますが、実際に生じる事象は相違することがあります。当資料に記載されている内容は、全て当資料作成日以前のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。●ファンドは、投資対象ファンドへの投資を通じて主に債券など値動きのある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に実質的に投資しますので、組み入れた債券の値動き、為替相場等の影響によって基準価額は変動します。したがって金融機関の預貯金等と異なり、購入金額を下回り、損失が生じる場合があります。元金および分配金が保証されているものではありません。●ファンドは、実質的に外国債券等を主に組み入れますので、為替レートの変動により当該外国債券等の円換算価格が変動する「為替変動リスク」があります。●投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うことになります。●投資信託は預金ではなく、預金保険の対象とはなりません。●投資信託は保険契約ではなく、保険契約者保護機構の保護の対象とはなりません。●購入のお申込みを行う場合には、販売会社から投資信託説明書(交付目論見書)を必ずお受け取りいただき、ファンドの内容、リスク、手数料・費用等の詳細をご確認の上、ご自身の判断でお申込ください。

運用実績 (2013年4月末現在)

販売用資料

■設定来の基準価額等の推移は下記のとおりです。



*再投資後基準価額は、税引前分配金を分配時に再投資したものと表示しています。 *基準価額の計算において信託報酬は控除しています。 *グラフの縦軸の目盛はファンドごとに異なる場合があります。

上記は過去のデータであり、将来を示唆あるいは保証するものではありません。各ファンドの将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

●当資料は、販売用資料としてアムンディ・ジャパン株式会社が作成したものです。法令等に基づく開示書類ではありません。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性あるいは完全性について保証するものではありません。また、当資料中のいかなる内容も、将来の投資収益等を示唆または保証するものではありません。当資料中には、特定の資産、市場等に関する予測および将来見通しが含まれていることがありますが、実際に発生する事象はかなりの相違することがあります。当資料に記載されている内容は、全て当資料作成日以前のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。●ファンドは、投資対象ファンドへの投資を通じて主に債券など流動性のある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に実質的に投資しますので、組み入れた債券の値動き、為替相場等の影響によって基準価額は変動します。したがって金融機関の預貯金等と異なり、購入金額を下回り、損失が生じる場合があります。元金および分配金が保証されているものではありません。●ファンドは、実質的に外国債券等を主に組み入れますので、為替レートの変動により当該外国債券等の円換算価格が変動する「為替変動リスク」があります。●投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うことになります。●投資信託は預金ではなく、預金保険の対象とはなりません。●投資信託は保険契約ではなく、保険契約者保護機構の保護の対象とはなりません。●購入のお申込みを行う場合には、販売会社から投資信託説明書(交付目論見書)を必ずお受け取りいただき、ファンドの内容、リスク、手数料・費用等の詳細をご確認の上、ご自身の判断でお申込ください。

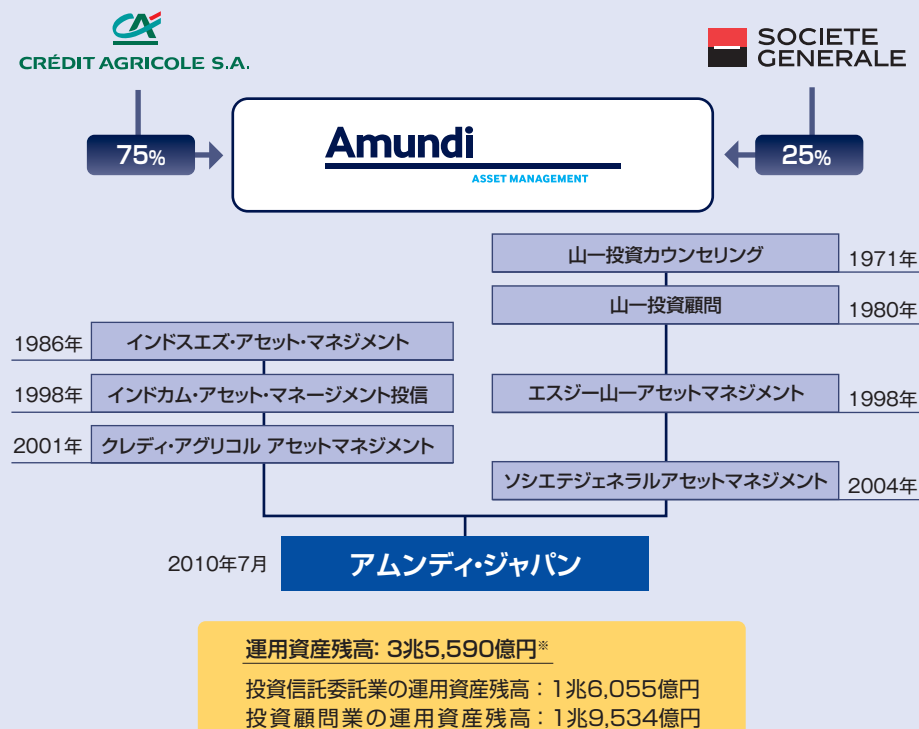
アムンディについて

アムンディは、運用資産規模で7,274億ユーロ(約83兆円、1ユーロ=114.71円で換算。2012年12月末現在)を超え、欧州第2位※、世界ではトップ・テン※に入るグローバル・プレーヤーの運用会社となります。

●欧州債券運用部門の運用資産は3,635億ユーロ(約42兆円、1ユーロ=114.71円で換算。2012年12月末現在)にのびります。欧州債券運用部門のハイイルド債券運用チームは、欧州ハイイルド債券市場が未成熟であった2001年6月からファンドの運用を開始しており、長い運用実績を有します。ファンドの運用にあたっては、徹底したボトムアップ・アプローチによる個別銘柄選定を重視しています。また、銘柄選定にあたっては、社内リサーチを重視するとともに、アムンディの親会社であるフランス大手銀行のクレディ・アグリコル エス・エーの経済調査部とも連携しています。

※インベストメント・ペンション・ヨーロッパによるトップ400社調査。
(2012年6月版(数値は2011年12月末))

アムンディ・ジャパン株式会社について



※2013年4月末現在。各契約資産合計には、重複資産(投資顧問契約と投資信託契約、ファンド・オブ・ファンズ等)が一部含まれています。

●当資料は、販売用資料としてアムンディ・ジャパン株式会社が作成したものです。法令等に基づく開示書類ではありません。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性あるいは完全性について保証するものではありません。また、当資料中のいかなる内容も、将来の投資収益等を示唆または保証するものではありません。当資料中には、特定の資産、市場等に関する予測および将来見通しが含まれていることがありますが、実際に生ずる事象は相違することがあります。当資料に記載されている内容は、全て当資料作成日以前のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。●ファンドは、投資対象ファンドへの投資を通じて主に債券など値動きのある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に実質的に投資しますので、組み入れた債券の値動き、為替相場等の影響によって基準価額は変動します。したがって金融機関の預貯金等と異なり、購入金額を下回り、損失が生じる場合があり、元金および分配金が保証されているものではありません。●ファンドは、実質的に外国債券等を主に組み入れますので、為替レートの変動により当該外国債券等の円換算価格が変動する「為替変動リスク」があります。●投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うことになります。●投資信託は預金ではなく、預金保険の対象とはなりません。●投資信託は保険契約ではなく、保険契約者保護機構の保護の対象とはなりません。●購入のお申込みを行う場合には、販売会社から投資信託説明書(交付目論見書)を必ずお受け取りいただき、ファンドの内容、リスク、手数料・費用等の詳細をご確認の上、ご自身の判断でお申込ください。



ご留意事項

- ファンドは、投資対象ファンドへの投資を通じて主に債券など値動きのある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に実質的に投資しますので、組み入れた債券の値動き、為替相場等の影響によって基準価額は変動します。したがって金融機関の預貯金等と異なり、購入金額を下回り、損失が生じる場合があります。元金および分配金が保証されているものではありません。
- 投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うことになります。投資信託は預金ではなく、預金保険の対象とはなりません。
- 投資信託は保険契約ではなく、保険契約者保護機構の保護の対象とはなりません。購入のお申込みを行う場合には、販売会社から投資信託説明書(交付目論見書)を必ずお受け取りいただき、ファンドの内容、リスク、手数料・費用等の詳細ご確認の上、ご自身の判断でお申込ください。

当資料で使用した金利について

ユーロ:3ヵ月LIBOR(ロンドン・インターバンク・オファード・レート)、ブラジルレアル:3ヵ月CD(譲渡性預金証書)レート、資源国通貨:ブラジルレアル(3ヵ月CDレート)、豪ドル(3ヵ月LIBOR)、南アフリカランド(ヨハネスブルグ・インターバンク・アグリッド・レート3ヵ月)の各短期金利を均等配分、豪ドル:3ヵ月LIBOR、トルコリラ:3ヵ月TRLIBOR、円:3ヵ月LIBOR

当資料で使用した指数について

欧州ハイイールド債:BofAML・ヨーロピアン・カレンシー・ハイ・イールド・コンストレイント・インデックス、米国ハイイールド債:BofAML・USハイ・イールド・マスターII・コンストレイント・インデックス、日本国債:シティグループ日本国債インデックス、米国国債:シティグループ米国国債インデックス、ユーロ国債:シティグループユーロ国債インデックス、エマージング国債:JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイド・インデックス、世界国債(除く日本):シティグループ世界国債インデックス(除く日本)、グローバル・リート(除く日本):S&Pグローバルリート指数(除く日本)、先進国株式(除く日本):MSCIコクサイ・インデックス(除く日本)

- シティグループ各インデックスは、シティグループ・グローバル・マーケッツ・インクが開発した債券インデックスです。
- BofAMLの各インデックスは、バンクオブアメリカ・メリルリンチの許可を得て使用しています。当該インデックスに関する知的財産権およびその他一切の権利はバンクオブアメリカ・メリルリンチに帰属します。
- 当資料中に引用した各インデックス(指数)の著作権・知的財産権及びその他一切の権利は各インデックスの算出元に帰属します。また各インデックスの算出元は、インデックスの内容を変更する権利及び発表を停止する権利を有しています。

●当資料は、販売用資料としてアムンディ・ジャパン株式会社が作成したものです。法令等に基づく開示書類ではありません。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性あるいは完全性について保証するものではありません。また、当資料中のいかなる内容も、将来の投資収益等を示唆または保証するものではありません。当資料中には、特定の資産、市場等に関する予測および将来見通しが含まれていることがありますが、実際に生じ得る事象はかなりの相違することがあります。当資料に記載されている内容は、全て当資料作成日以前のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。●ファンドは、投資対象ファンドへの投資を通じて主に債券など値動きのある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に実質的に投資しますので、組み入れた債券の値動き、為替相場等の影響によって基準価額は変動します。したがって金融機関の預貯金等と異なり、購入金額を下回り、損失が生じる場合があります。元金および分配金が保証されているものではありません。●ファンドは、実質的に外国債券等を主に組み入れますので、為替レートの変動により当該外国債券等の円換算価格が変動する「為替変動リスク」があります。●投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うことになります。●投資信託は預金ではなく、預金保険の対象とはなりません。●投資信託は保険契約ではなく、保険契約者保護機構の保護の対象とはなりません。●購入のお申込みを行う場合には、販売会社から投資信託説明書(交付目論見書)を必ずお受け取りいただき、ファンドの内容、リスク、手数料・費用等の詳細をご確認の上、ご自身の判断でお申込ください。



●当資料は、販売用資料としてアムンディ・ジャパン株式会社が作成したものです。法令等に基づく開示書類ではありません。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性あるいは完全性について保証するものではありません。また、当資料中のいかなる内容も、将来の投資収益等を暗示または保証するものではありません。当資料中には、特定の資産、市場等に関する予測および将来見通しが含まれていることがあります。実際に生起する事象はかならず異なることがあります。当資料に記載されている内容は、全て当資料作成日以前のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。●ファンドは、投資対象資産ファンドへの投資を通じて主に債券など価値ある有価証券(外貨建資産)は為替変動リスクもあります。●に実質的に投資しますので、組み入れた債券の価値動き、為替相場等の影響によって基準価額は変動します。したがって金融機関の預貯金等と異なり、購入金額を下回り、損失が生じる場合があります。元金および分配金が保証されているものではありません。●ファンドは、実質的に外国債券等を主に組み入れますので、為替レートの変動により当該外国債券等の円換算価格が変動する「為替変動リスク」があります。●投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うことになります。●投資信託は預金ではなく、保険金保の対象とはなりません。●投資信託は保険契約ではなく、保険契約者保護機構の保護の対象とはなりません。●購入のお申込みを行う場合には、販売会社から投資信託説明書(交付目録見書)を必ずお受け取りいただき、ファンドの内容、客観的・主観的・手数料・費用等の詳細をご確認の上、ご自身の判断でお申込ください。

お申込みメモと手数料・費用等

販売用資料

お申込みの際は、投資信託説明書（交付目論見書）でご確認下さい。

お申込みメモ	
設 定 日	「ユーロコース」「ブラジルリアルコース」「資源国通貨コース」「円コース」 2011年1月31日 「豪ドルコース」「トルコリラコース」 2011年10月27日
信 託 期 間	2016年4月8日まで
決 算 日	年12回決算、原則毎月8日です。休業日の場合は翌営業日とします。
収 益 分 配	年12回。原則として毎決算時に収益分配方針に基づいて分配を行います。
申 込 締 切 時 間	原則として毎営業日の午後3時までに購入・換金のお申込みができます。
購入・換金申込不可日	ファンドの休業日（東京証券取引所の休業日、ユーロネクストの休業日、フランスの祝休日、ルクセンブルクの銀行休業日のいずれかに該当する場合、または12月24日である場合）には、受け付けません。
購 入 単 位	1万口（円）以上1口（円）単位
購 入 価 額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
購 入 代 金	原則として、購入申込受付日から起算して5営業日目までにお申込みの販売会社にお支払いください。
換 金 単 位	1円単位
換 金 価 額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額とします。
換 金 代 金	換金申込受付日から起算して、原則として5営業日目から販売会社においてお支払いします。
ス イ ッ チ ン グ	各ファンド間でスイッチングが可能です。スイッチング時の購入価額および購入単位は、原則として、それぞれ上記と同じとします。
課 税 関 係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。（平成26年1月1日以降） 配当控除および益金不算入制度は適用されません。
換 金 制 限	委託会社の判断により、一定の金額を超える換金申込には制限を設ける場合があります。

手数料・費用等													
投資者の皆様が実質的にご負担いただく手数料等の概要は以下のとおりです。またこれらの費用は事前に計算できないことから実際にご負担いただく費用の金額、合計額、それらの上限額および計算方法は記載しておりません。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。													
投資者が直接的に負担する費用													
購入時													
購入時手数料	購入申込日の翌営業日の基準価額に、3.15%（税抜3.0%）を上限として、以下の手数料率を乗じた金額とします。												
	<table><tr><th>購入申込総金額</th><th>手数料率</th></tr><tr><td>5,000万円未満</td><td>3.15%（税抜3.00%）</td></tr><tr><td>5,000万円以上～2億円未満</td><td>2.10%（税抜2.00%）</td></tr><tr><td>2億円以上～3億円未満</td><td>1.05%（税抜1.00%）</td></tr><tr><td>3億円以上～5億円未満</td><td>0.525%（税抜0.50%）</td></tr><tr><td>5億円以上</td><td>なし</td></tr></table>	購入申込総金額	手数料率	5,000万円未満	3.15%（税抜3.00%）	5,000万円以上～2億円未満	2.10%（税抜2.00%）	2億円以上～3億円未満	1.05%（税抜1.00%）	3億円以上～5億円未満	0.525%（税抜0.50%）	5億円以上	なし
	購入申込総金額	手数料率											
	5,000万円未満	3.15%（税抜3.00%）											
	5,000万円以上～2億円未満	2.10%（税抜2.00%）											
	2億円以上～3億円未満	1.05%（税抜1.00%）											
	3億円以上～5億円未満	0.525%（税抜0.50%）											
5億円以上	なし												
換金時													
信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に0.1%を乗じて得た金額とします。												
換金時手数料	ありません。												
投資者が投資信託財産で間接的に負担する費用													
保有期間													
運用管理費用（信託報酬）	上限：純資産総額に対して年率1.7305%（税込）*1 ※1 各ファンドはファンド・オブ・ファンズ方式をとっているため、各ファンドの約款で定める信託報酬の年率1.0605%（税込）に、組入投資信託証券のうち信託報酬が最大のもの（「ストラクチャル・欧州ハイ・イールド・ボンド」：年率0.67%*2）を加算しております。 ※2 日本国外においてかかる費用（日本籍以外の組入投資信託証券の信託報酬）に関しては、消費税等が課されません。												
その他の費用・手数料	監査費用、信託事務の処理等に要する諸費用等がかかります。その他の費用・手数料の合計額は、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。												
委託会社、 その他の関係法人	委託会社：アムンディ・ジャパン株式会社 受託会社：株式会社 リソナ銀行（再信託受託会社：日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社） 販売会社：東海東京証券株式会社												
お問合せ先	委託会社の名称：アムンディ・ジャパン株式会社 お客様サポートライン：0120-202-900（フリーダイヤル） （受付は委託会社の営業日の午前9時から午後5時まで。） ホームページアドレス：http://www.amundi.co.jp												

●当資料は、販売用資料としてアムンディ・ジャパン株式会社が作成したものです。法令等に基づく開示書類ではありません。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性あるいは完全性について保証するものではありません。また、当資料中のいかなる内容も、将来の投資収益等を示唆または保証するものではありません。当資料中には、特定の資産、市場等に関する予測および将来見通しが含まれていることがありますが、実際に生じる事象は十分に相違することがあります。当資料に記載されている内容は、全て当資料作成日以前のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。●ファンドは、投資対象ファンドへの投資を通じて主に債券など値動きのある有価証券（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）に実質的に投資しますので、組み入れた債券の値動き、為替相場等の影響によって基準価額は変動します。したがって金融機関の預貯金等と異なり、購入金額を下回り、損失が生じる場合があります。元金および分配金が保証されているものではありません。●ファンドは、実質的に外国債券等を主に組み入れますので、為替レートの変動により当該外国債券等の円換算価格が変動する「為替変動リスク」があります。●投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うことになります。●投資信託は預金ではなく、預金保険の対象とはなりません。●投資信託は保険契約ではなく、保険契約者保護機構の保護の対象とはなりません。●購入のお申込みを行う場合には、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）を必ずお受け取りいただき、ファンドの内容、リスク、手数料・費用等の詳細をご確認の上、ご自身の判断でお申込ください。